

Smart
LEDZ
 **Fit Plus**
ユーザーマニュアル

バージョン2.0

ENDO
LIGHTING CORP.

はじめに

本書はSmart LEDZ Fit Plus用のユーザーマニュアルです。

ご使用前の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、操作手順のボタンを簡略したデザインで表現しています。
- URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本システムで使用する「システムID、パスワード」は、本書のメモに記録し保存してください。
システムID、パスワードを失念・紛失した場合操作ができなくなります。
- 本書の内容は、Smart LEDZ Fit Plusシステムバージョン2.30以上に準拠しています。
他のバージョンとは操作や内容が異なる場合があります。

目次

はじめに	1
------	---

1. 使用上のご注意事項

注意事項のご案内	4
システムの設置条件と通信距離	5
スケジュール動作と通信復帰について	6
無線通信のチャンネル設定	7

2. Smart LEDZ Fit Plusシステム概要

Smart LEDZ Fit Plus システム構成	8
Smart LEDZ Fit Plus 製品紹介	10

3. 用語解説

名称・用語解説	13
---------	----

4. 設定の流れ

起動から照明制御までの流れ	15
---------------	----

5. 初期設定

有線LANネットワークを準備する	16
ゲートウェイにWi-Fi接続する	17
ルーターの設定をする	18
サーバー用ゲートウェイを設定する	19
システムID, パスワード登録	20
システムログイン	21
時刻設定	22
ゲートウェイ登録	25
図面登録	27
照明配置 (デバイスの探索と登録)	28
設定画面の説明	30
制御区分の概要	31
グループ設定	32
ゾーン設定	33
シーン設定	35
シーンスケジュール設定	36

6. 操作

ホーム画面操作	41
個別操作 (ボタン操作)	43
全体操作	45

7. 詳細設定

ゲートウェイ設定	46
シーンセレクトリモコン設定	47
リモコンボタン設定	50
センサー設定	51
センサーグループ設定	53
センサーパターン設定	54
センサータイムテーブル設定	56
センサースケジュール設定	57
照明デバイスの詳細設定	59
接点コンバータ設定	60
パソコンとタブレット型コントローラをmicroUSBケーブルで接続する方法	62

8. ツール・情報

モニタリング.....	63
ファームウェアアップデート.....	64
バックアップ・リストア	65
パスワード設定.....	66
バージョン情報.....	67

9. お知らせ

よくある質問.....	68
連絡先	73
Smart LEDZ コントローラ設定メモ	74

1

注意事項

注意事項のご案内

- ・ **システムID及びパスワード**は失念・紛失しないよう管理してください。
システムID及びパスワードを失念・紛失した場合、サポートが出来なくなりますので、設定メモに**システムID及びパスワード**を記録し、保管してください。
- ・ 複数のシステムを使用する場合は必ず、システムごとで別々のシステムIDおよびパスワードを設定してください。
- ・ 調光調色(Tunable)やSynca対応の器具では調色値(色温度)[K]の設定が可能ですが、参考値としてご理解頂くようお願い致します。
- ・ 設定登録及び編集時は、必ずシステムに含まれるすべてのデバイスが通信できる状態で、設定や編集を行ってください（ファームウェアアップデートの場合は除く）。
例：一部の照明器具を電源オフにした状態で設定の編集を行った場合、無線モジュールが保有する情報が異なり、設定した通りに動作しません。
- ・ システムは時計機能によるスケジュール運転を行いますが、時間経過とともに誤差が発生します。タブレット型コントローラを使用して定期的にゲートウェイとの時刻合わせを行ってください。
- ・ システムで複数のゲートウェイを使用する場合は、必ず同一のファームウェアバージョンの状態でご使用ください。

1

注意事項

システムの設置条件と通信距離

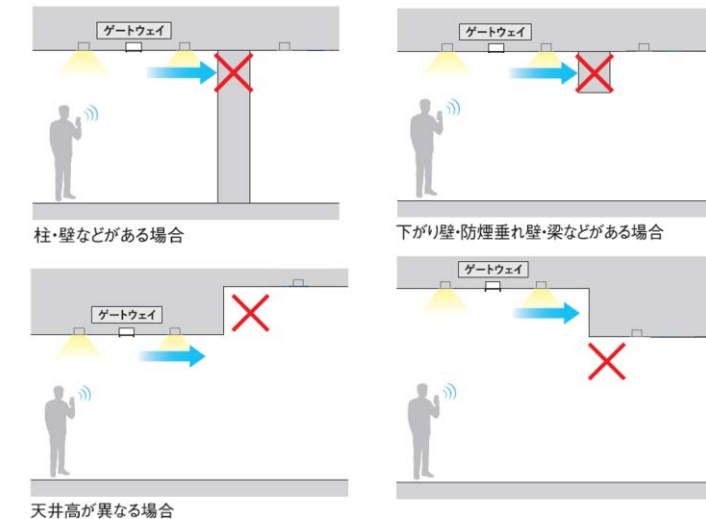
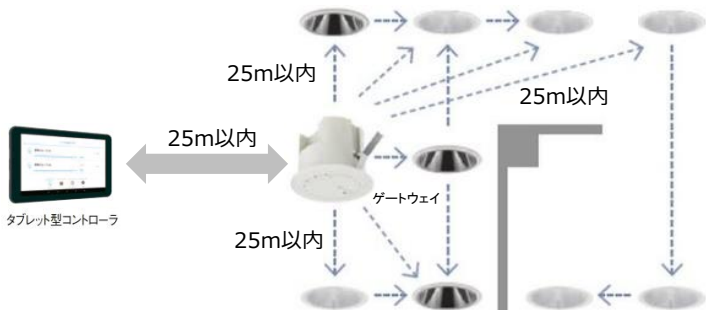
- Smart LEDZ Fit Plusは、無線コントロールシステムのため通信距離に制限があります。メッシュネットワーク内（ゲートウェイ：無線モジュール間同士）の標準通信距離は、見通し距離で半径25mです。

[一般的な壁で隔たれていない開放空間での通信距離です。]

障害物のない開放空間の場合は、標準以上の通信も可能ですが、環境によって異なるため下図の設置条件に沿って取り付けてください。

- タブレット型コントローラは、ゲートウェイと見通し距離25m以内で通信してください。

電波を利用した通信のため、金属製の壁や鉄筋コンクリートなどで遮蔽された空間の場合は、電波が届かず通信ができません。また、照明器具の取付面や天井材が金属製、エアコン・断熱材・防火壁などがある場合も通信ができません。



■スケジュール動作の復帰時間について

照明器具に搭載された無線モジュールは、壁スイッチによる電源OFF→ONを行ったときに、電源OFF時の調光率で点灯する機能を持ちます。（例外的に消灯（0%）で電源OFF時は、調光率5%として記憶します。）このため、照明器具の電源ON時は、スケジュール運用を行っていても一時的にスケジュール設定とは異なる調光率になる事がありますが、スケジュール運転はゲートウェイとの通信復旧後に再開します。

※ゲートウェイ システムバージョン2.01以降の場合、スケジュール運転時の調光率に復帰させる為に、照明器具の電源OFFから再度電源ONするまでの間隔は、5分以上の時間を空けてください（下図参照）

※タイムテーブルの設定に、“no scene”を設定している時間帯は、照明器具の電源OFF→ONを行ったときに、電源OFF時の調光率で動作します。

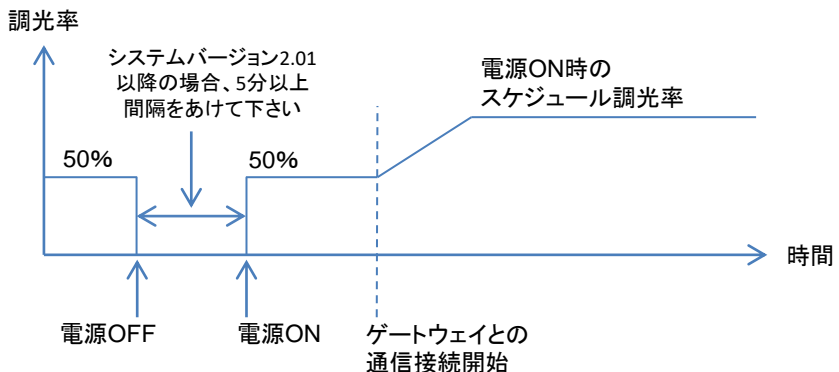
■照明器具 電源ON後の通信復帰について

本システムは、無線通信を利用した照明制御機器です。照明器具には無線モジュールが内蔵されています。通信可能状態から照明器具を電源OFFにすると、通信が遮断されるため、電源を再投入した際は通信復帰までに若干の接続時間が必要となります。

ゲートウェイ、センサー、リモコンも無線モジュールを内蔵した通信機器です。

このため、通信復帰までの接続時間が必要となります。ゲートウェイ、センサー、壁付けリモコンについては1日中電源ONの状態となるようにしてください。

本システムでは、照明器具が点灯しない状態を回避するために、通信復帰までの間は、照明器具をOFFしたときの調光率で点灯する設計となっております。電源OFF時に調光率0%の場合は、調光率5%で点灯します。



1

注意事項

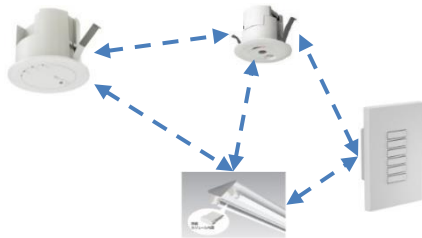
無線通信のチャンネル設定

2.4GHzメッシュ方式は設置した無線通信環境に応じて、最適なチャンネルを選択します。環境の変化により、非常に混雑した通信環境になると、Smart LEDZ Fit Plusの通信や他の通信システムに、通信遅延などが発生することがあります。他の通信システムと混信したり、誤動作することはありません。

コントローラとゲートウェイはWi-Fiで通信します。

■ Smart LEDZ Fit Plusで使用している無線の種類

① 2.4GHzメッシュ方式



無線モジュール（照明器具、ゲートウェイ、センサー、リモコン）間の通信に使用します。

2,12,23,34,37,38,39チャンネルを自動で使用します。

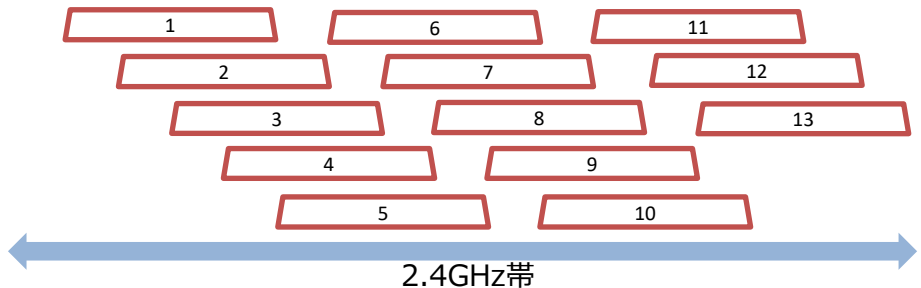


② IEEE802.11 b/g/n (Wi-Fi)



コントローラ・ゲートウェイ間の通信に使用します。ゲートウェイの初期設定は11チャンネルです。

使用するチャンネルは、1～13の間の1チャンネルを指定することが可能です。



2

Smart LEDZ Fit Plus システム概要

Smart LEDZ Fit Plusシステム構成

見通し半径25m以内の無線モジュール付き器具を制御
 ゲートウェイ1台あたり
 最大250台（リモコンなど含む）
 ※1システムにルーターは必ず1台設置してください。

蓋付き AC100V-242V
 壁スイッチ 24時間給電

ゲートウェイ

タブレット型
 コントローラ



(別売)コントローラ用
 壁付電源アダプター

HUB
 (市販品)

AC100V
 24時間給電

有線LAN

AC100V
 24時間給電

ルーター
 (市販品)

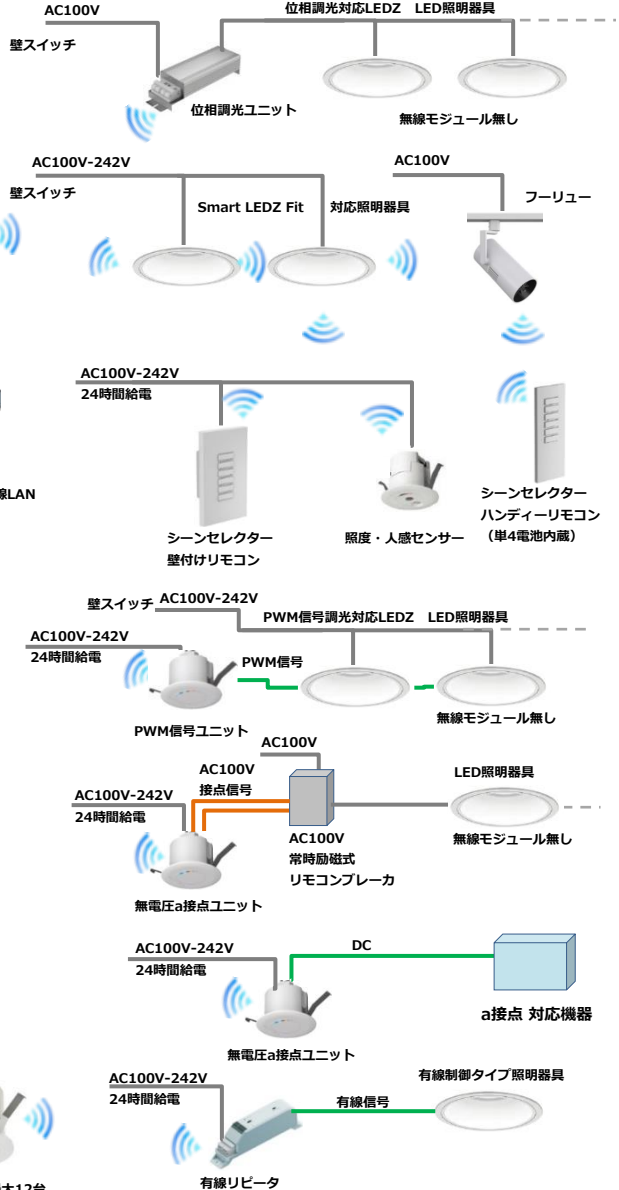
AC100V
 24時間給電

接続コンバータ

a/b接続機器

蓋付き AC100V-242V
 壁スイッチ 24時間給電

ゲートウェイ 最大12台



Smart LEDZ Fit Plusシステム構成

- Smart LEDZ Fit Plus(スマートレッズフィットプラス)は、無線によって照明器具の設定や制御を行う、照明制御システムです。

※システム：1台のコントローラで設定や制御ができる範囲のことです。1つのシステムは、ゲートウェイ単体や、有線LANで接続された12台までゲートウェイの登録が可能です。

- 本システムでは、照明器具やデバイスをグループに登録し、以下のことができます。
 - ・ 照明器具やデバイスのグループへの登録、変更はタブレットから行えます。
 - ・ 無線調光タイプの照明器具について、調光、調光調色(Tunable)、Syncaのシリーズ別にグループを作成することができます。
 - ・ 単数または、複数のグループをゾーンに登録することができます。ゾーンに登録した各グループについて、調光や調色を予め設定した、シーンを設定することができます。
 - ・ シーンをタイムテーブルに登録し、スケジュール運転を行うことができます。
 - ・ 人感センサー、照度センサーと組み合わせ、センサーグループとして制御が行えます。
 - ・ センサーグループは、センサーの動作を設定したセンサーパターンと組み合わせ、スケジュール運転を行うことができます。
 - ・ 位相制御ユニットやPWM制御ユニットから、位相制御・PWM制御タイプの当社の照明器具を制御することができます。

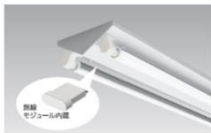
● ご注意

- ・ **照明器具電源のオン・オフはできませんので、必ず壁スイッチを設けてください。**
- ・ 位相調光用照明器具・電源・ランプは指定以外のものは使用できません。
- ・ システムの最大接続台数には、無線モジュール及びセンサー・リモコンなども含まれます。
- ・ PWM信号ユニット、位相調光ユニット、無電圧a接点ユニット、有線リピータは、各ユニットが制御している照明器具の台数に関わらず、ユニットの台数を接続台数としてカウントします。
- ・ Smart LEDZ Fit Plus 以外の無線システム（旧Smart LEDZシステムを含む）と組み合わせ使用することができません。

2

Smart LEDZ Fit Plus システム概要

Smart LEDZ Fit Plus 製品紹介



<照明器具：無線調光タイプ各種>

無線モジュール付きの照明器具です。器具の構造により、無線モジュールは器具内蔵のもの、外付のものがあります。

弊社カタログに“無線調光タイプ”の記載がある照明器具をご使用ください。無線調光のタイプは、調光・調光調色(Tunable)・Syncaがあります。無線モジュール同士は見通しが利く半径25mの範囲内に設置してください。



<ゲートウェイ> FX-430W・FX-430B・FX-430WA・FX-430BA ※

1台で1つのメッシュネットワークを管理します。

1システムのうち1台のゲートウェイがサーバーの役割を果たします。タブレットとWi-Fiで通信します。最大12台を有線LANで接続可能です。



<タブレット型コントローラ> FX-438N・FX-438NA

本システム専用のタブレット型コントローラです。



別売) FX-450W 壁付電源アダプター (クレードル)



<照度・人感センサー> FX-428W・FX-428B・FX-428WA・FX428BA

照度センサーモードと人感センサーモードがあり、使用する時はいずれかのモードを指定します。両方のモードを同時に使用することはできません。無線モジュールを内蔵しておりますので、他の無線モジュール内蔵器具とは見通しが利く半径25mの範囲内に設置してください。

照度センサーモードでは1グループ内に1台のみ、人感センサーモードでは1グループ内に10台まで使用することができます。



<シーンセレクター壁付けリモコン> FX-427W・FX-427WA・FX-427WB

<シーンセレクターハンディリモコン> FX-431W・FX-431WA・FX-431WB

設定したシーンを呼び出すことができるリモコン子機です。

複数のゾーンのシーンから最大6シーンまでの登録が可能です。

また、特定のゾーンや全ゾーンのオート復帰ボタンの登録も可能です。

無線モジュールを内蔵しておりますので、他の無線モジュール内蔵器具とは見通しが利く半径25mの範囲内に設置してください。

1ゲートウェイ当たり最大10台まで使用することができます。

注) 施工について

照明器具は壁スイッチ、ゲートウェイには蓋付きスイッチをつけてください。

ゲートウェイ・センサー・壁付けリモコン・壁付電源アダプターなどへの電源供給は、24時間給電できるように施工し運用してください。

また、センサーは照明器具とは別回路で施工し、電源スイッチをつけないてください。

Smart LEDZ Fit Plus 製品紹介


<無電圧a接点ユニット> FX-440W・FX-440B・FX-440WA・FX-440BA

無電圧a接点リレーを内蔵したユニットです。
AC100Vの常時励磁式リモコンプレーカーと接続することができます。
その他DC30Vの制御機器への接点制御として接続することができます。
屋外照明など、無線調光タイプ以外の照明についてON/OFF及び、
スケジュール運転で運用したいときに使用します。


<PWM信号ユニット> FX-441W・FX-441B・FX-441WA・FX-441BA

無線調光信号をPWM信号に変換し出力するユニットです。
PWM信号制御式の照明器具を制御したいときに使用します。
ユニット1台でPWM信号用照明器具 50台に接続し制御ができます。


<位相調光ユニット> FX-426N・FX-426NA

位相調光タイプの当社のLED照明器具・LEDランプをコントロールすることが
できます。
4VA~300VAの負荷を接続することができます。
天井埋込穴径はφ75が必要です。


<接点コンバータ> FX-304W

デマンド制御を行う場合に使用します。デマンド監視装置の無電圧接点信号を、
ゲートウェイに伝えて、照明器具を制御することができます。
1システムに1台まで使用可能で、サーバー設定されたゲートウェイと通信
します。無線通信は行いません。


<ルーター> (市販品)

ゲートウェイと有線LANで接続し、システムの設定を行います。
DHCP機能付き、10BASE-T, 100BASE-TXタイプを使用してください。
使用するゲートウェイの台数分をIPアドレス固定設定にしてください。
他のシステムや他のネットワーク機器と併用しないでください。
BBR-4MG、BBR-4HG、BHR-4GRV2、VR-S1000、VR-U500X
(バッファロー製)は接続確認済です。
1台のルーターに複数のシステムを接続しないでください。
(システムごとでVLANで区切る場合は可能です。)


<スイッチングHUB/LANケーブル> (市販品)

複数のゲートウェイや接点コンバータを有線LANで接続する場合に使用します。

- カテゴリーは、5,5e,6,6Aで、UTPタイプを使用してください。
- ゲートウェイは、ストレートタイプのケーブルが使用可能です。
- ケーブルの長さは規格で最大100mまでになります。
- LANケーブル(終端処理)を自作する場合は、B配線(T568B配線)に
してください。
- スイッチングHUBは、10BASE-T, 100BASE-TX適合品を使用してください。
- ゲートウェイ間は、ルーターとHUBの合計台数が5台以下になるように
してください。
- PoE機能の付いたHUBは、使用できません。



Smart LEDZ Fit Plus 製品紹介



<中継機> FX-501W・FX-501B・FX-501WA・FX-501BA

<卓上/壁付けタイプ 中継機> FX-514W

デバイス間の見通し距離25mを確保できない場合に通信を中継するユニットです。設置に関して制限があります。詳しくは中継機の取扱説明書をご確認ください。



<有線リピータ> FX-508W

無線信号を有線信号に変換するリピータです。有線信号は、有線制御タイプの照明器具に接続します。有線リピータと接続された照明器具は全て同一設定(色温度/ペールカラー/Duv/調光率)になります。調光・調光調色(Tunable)・Syncaタイプの照明器具を混在して接続することはできません。設置に関して制限があります。詳しくは有線リピータの取扱説明書をご確認ください。



<光触媒フィルター付 空気還流システム：フリーユー[**fu:ryu:**] >

光触媒フィルター付のフリーユーです。無線制御対応のフリーユーは、無線モジュールを内蔵しています。専用のフリーユーグループに登録することで、風量・風向き(側面送風/下面送風)・除菌モードを、グループ単位で制御することができます。 デマンド制御時は、停止します。詳しくは光触媒除菌フリーユーの取扱説明書をご確認ください。



<空気還流システム：フリーユー[**fu:ryu:**]>

無線制御対応のフリーユーは、無線モジュールを内蔵しています。専用のフリーユーIIグループに登録することで、グループ単位で停止を含め風量を16段階で制御することができます。フェードを使用することはできません。 デマンド制御時は、停止します。詳しくはフリーユーの仕様図・取扱説明書をご確認ください。



<照明配置アプリ>

端末で、ゲートウェイの代わりに照明配置(デバイスをシステムに登録する設定)ができるAndroid用アプリケーションです。端末に近い位置にあるデバイスを個別にシステムに登録することができます。

- ディスプレイの解像度1024×600ドット以上、画面サイズ7インチ以上の端末を使用してください。

- 1ゲートウェイあたり端末1台まで使用可能です。

- 照明配置アプリを使用中のゲートウェイは、通常の照明配置画面からのゲートウェイへのアクセスはできなくなります。

- 複数ゲートウェイを各々の端末で同時に照明配置可能ですが、ゲートウェイとのデータのダウンロード、アップロードは複数端末で同時に行わないでください。

- Android 9.0以上、Bluetooth4.2以上に対応します。iOS版はありません。

* 最新バージョンへ必ずしも対応しているものではありません。
アプリケーションは、左のQRコードからダウンロードしてください。



本章では、本システムで用いられている名称や用語について解説します。

一般的な意味にも使用される用語については、本システムに沿った解説となっています。

■メッシュネットワーク

無線モジュール同士で通信を行うことで、網の目（メッシュ）のように形成された通信ネットワーク。メッシュネットワーク上の無線モジュールが故障した場合でも、別の無線モジュール経由で通信経路が確保され、ネットワーク自体への影響を少なくすることができます。

■デバイス

無線モジュール、ゲートウェイ、センサー、リモコン、位相調光ユニットのような、メッシュネットワークを構成する無線通信機能を持った装置を総称したものです。

■無線モジュール

制御のための無線電波を送受信するためのモジュール。無線調光タイプの照明器具や照度・人感センサー、リモコン等のデバイスに内蔵しています。

■ゲートウェイ(GW)

メッシュネットワークの管理、ゲートウェイ間の通信を行いシステムを制御します。タブレット端末からWi-Fiで接続します。

■グループ/ゾーン

グループは、1台～複数の照明器具・センサーなどをまとめたものです。グループ内一括での調光・調色操作とグループ内の照明器具個別の調光・調色ができます。

1～複数のグループをまとめたものがゾーンになります。

■シーン

ゾーンのグループごとに調光率や調色を設定し、一括でゾーンの各グループの調光や調色を行うことができるようにしたものです。アプリからの手動だけでなく、スケジュールやリモコンでもシーンの切り替えができます。

■シーンタイムテーブル、センサータイムテーブル

シーンタイムテーブルは、1日の24時間の中で、シーンの切り替わりを設定したものです。ゾーン単位で設定します。

センサータイムテーブルは、1日の24時間の中で、センサーの動作(センサーパターン)を設定したものです。センサーグループ単位で設定します。

■スケジュール

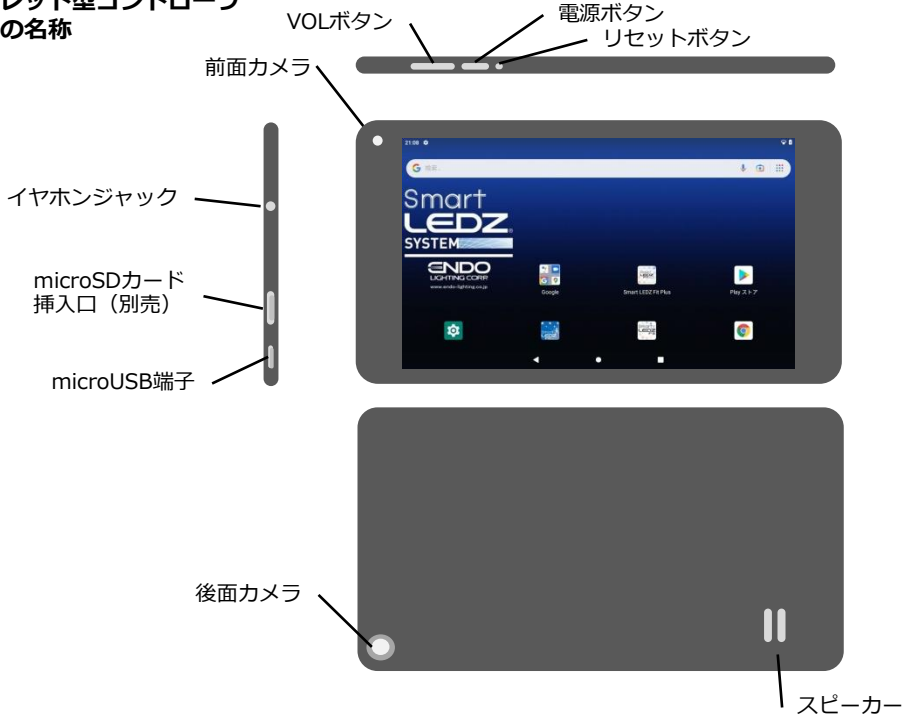
シーンタイムテーブルやセンサータイムテーブルで作成した1日分の設定を、毎日・週間・期間・特異日の単位で設定したものです。

3

用語解説

名称・用語解説

タブレット型コントローラ 各部の名称



電源ON : 電源ボタンを2秒程度長押しします。
 起動画面が 約30秒間表示し、時計表示画面が表示します。
 画面を上側にスワイプして「待受け画面」を表示します。(下記画面)

待受け画面



設定アイコン

ナビゲーションバー

ステータスバー
時刻、電池残量表示

Fit Plusショートカットアイコン
長押しでゲートウェイのIPアドレスを設定することが可能です。

クロームアイコン

◀ 前の画面に戻ります。

● 待受け画面(コントローラのホーム画面)に戻ります。

■ 開いているアプリの一覧を表示します。

4

設定の流れ

起動から照明制御までの流れ

■ アプリ起動後から照明制御まで

詳細は次ページ以降を参照してください。

ゲートウェイのWi-Fiに接続

ルーター設定とサーバー設定

システムID・パスワード登録

時刻設定・地域設定

ゲートウェイリストの登録

図面の登録

照明器具の登録

照明グループの作成と登録

ゾーンの作成と登録

シーンの作成と登録

スケジュールの作成と登録

各種リモコンの設定と登録

その他のオプションの設定と登録

※ここまでの初期の設定は完了です。

グループを作成し照明器具をグループに登録できたら、シーンやスケジュールを作成することが可能になります。

ゲートウェイ、タブレット、照明器具、他のオプション機器の電源を投入します。

※照明器具は、登録の順序都度 電源を入れてください。

GWとタブレットのWi-Fi設定を行い接続します。

ルーター設定：GWのIPアドレスを固定します。
サーバー設定：サーバーGWを設定します。

システムへの接続 「システムID」、
「パスワード」を登録します。

タブレット、ゲートウェイの時刻、地域を設定します。

連携するGWをリストに登録します。

S Lエディターで作成した図面データ、
シンボル情報をGWに登録します。

照明器具を読み込み（スキャン）、図面データのシンボルに照明器具を紐付けします。
※照明配置画面の、照明器具の紐付け時のみ、1GW当たり1端末迄使用可能です。
※照明配置アプリを使用して登録も可能です。

読み込んだ図面データのシンボル及びエリアを使い照明グループを作成します。

作成した照明グループを集約する、ゾーンを作成します。

ゾーン内の照明グループごとの調光、調色の状態をシーンとして作成します。

オート運転でシーンを切り替える場合、
タイムテーブルとスケジュールを作成します。

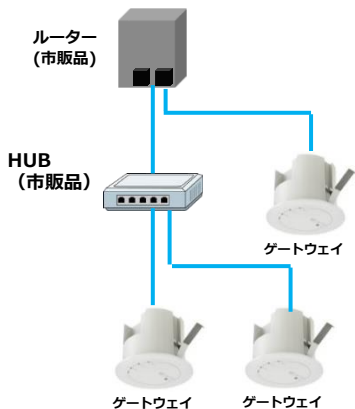
壁付け・ハンディー、シーンセクターリモコンの設定と登録をします。

照度・人感センサー、PWM信号ユニット、位相調光ユニット、接点コンバータなどと照明の設定と登録をします。

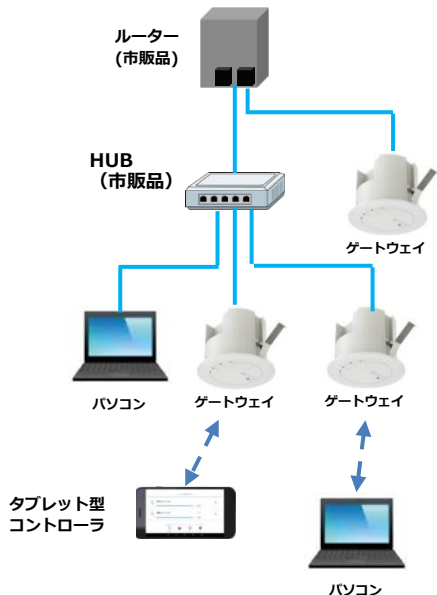
5

初期設定

有線LANネットワークを準備する



1. ゲートウェイとルーターを有線LANネットワークに接続します。
 - ゲートウェイは、ルーター1台を含む有線LANネットワークに接続してください。
 - ゲートウェイのIPアドレスの設定を行うため、ルーターはDHCP機能があるものを使用してください。
 - ルーターのインターネット(WLAN)ポートに、ゲートウェイを接続しないでください。
 - ゲートウェイ1台で使用する場合もルーターが必要です。
 - 1つのネットワーク内にルーターを1台以上接続しないでください。通信できなくなる場合があります。



2. コントローラからゲートウェイに通信接続し、ルーターの設定を行います。

コントローラからゲートウェイへの通信接続の手順は次ページ以降で説明します。

 - 有線LANネットワークに接続する、ゲートウェイ、ルーター、HUBの電源をオンにしてください。
 - ルーターの設定を行うための方法は、ルーターの取扱説明書を参照してください。



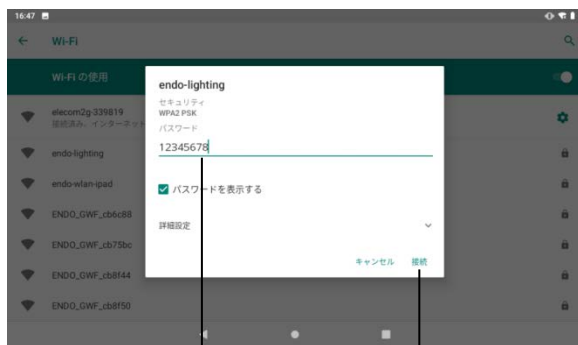
パソコンについて

100BASE-TX, 10BASE-Tに適合するパソコンの場合、有線LANネットワークに接続しても、ルーターの設定を行うことが可能です。

ゲートウェイにWi-Fi接続する

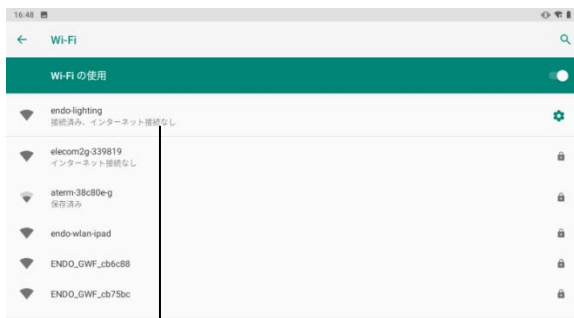


①



②

③



④

⑤

1. コントローラの電源をオンにします。画面がロックされている状態で起動しますので、画面を上からスワイプしてロックを解除してください。コントローラのホーム画面が表示されます。
2. ①[設定]アイコンをタップします。設定画面が表示されます。
3. [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]を選択します。Wi-Fi画面が表示されます。
● [Wi-Fiの使用]がOFFの場合はONにします。
4. SSIDのリストから[endo-lighting]を選択します。ポップアップが表示されます。

① ゲートウェイのSSID

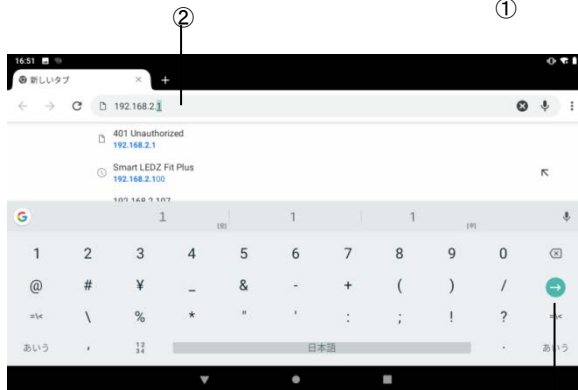
工場出荷時のゲートウェイのSSIDは全て、endo-lightingになっています。近くに複数システムが存在する場合は、別システムのゲートウェイに接続しないように、登録するゲートウェイの近くでWi-Fi接続を行ってください。

5. ②[パスワード]に"12345678"を入力します。
6. ③[接続]をタップします。コントローラからゲートウェイにWi-Fi接続が行われます。
7. ④[接続済み、インターネット接続なし]の表示がされていれば、正常に接続されています。
8. 画面下の⑤[●]ボタンをタップし、コントローラのホーム画面に移動します。

5

初期設定

ルーターの設定をする

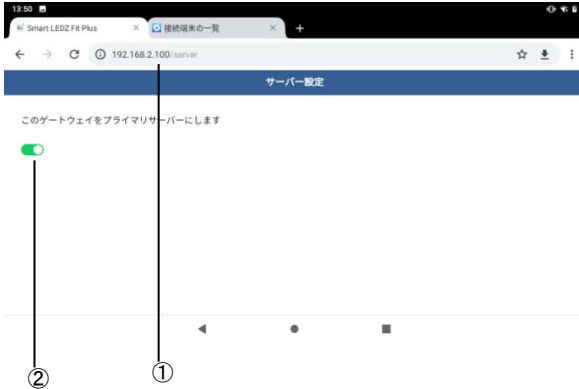


1. コントローラのホーム画面の、①[Google chrome]アイコンをタップします。グーグルクロームブラウザが起動します。
2. ブラウザの②[アドレスバー]にルーターのIPアドレスを入力します。
●ルータのIPアドレスは、ルーターの取扱説明書を確認してください。
3. ③[エンター]をタップすると、ルーターへの通信接続を行います。
4. ルーターの④[ユーザ名とパスワード]の入力が求められる場合は、それぞれ入力します。
●ルーターのユーザ名とパスワードについてはルーターの取扱説明書を確認してください。
5. ⑤[ログイン]をタップすると、ルーターの設定が行えるようになります。
6. ルーターの設定で、以下を行ってください。
●ゲートウェイのIPアドレスとMACアドレスの確認をしてください。
●ゲートウェイのIPアドレスの固定設定をしてください。(重要)
●ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書を確認してください。
●システムで使用するゲートウェイの内1台をサーバー用にします。ゲートウェイを1台選択し、IPアドレスを控えてください。

5

初期設定

サーバー用ゲートウェイを設定する

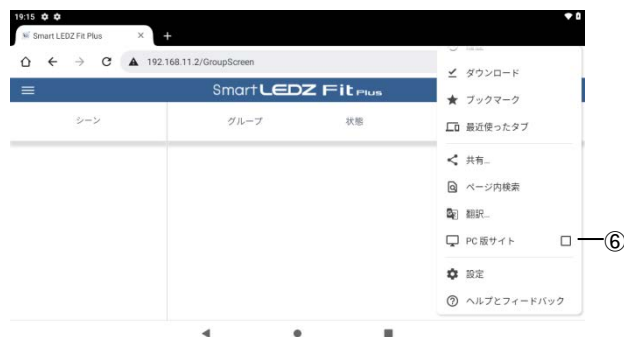
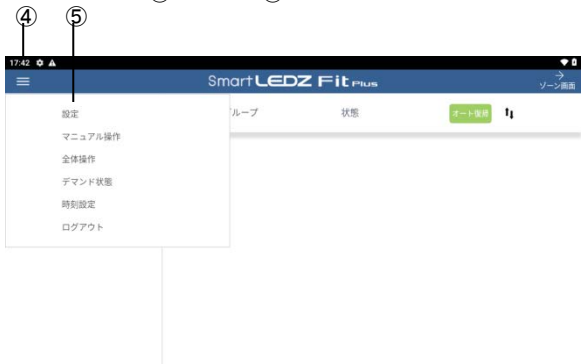
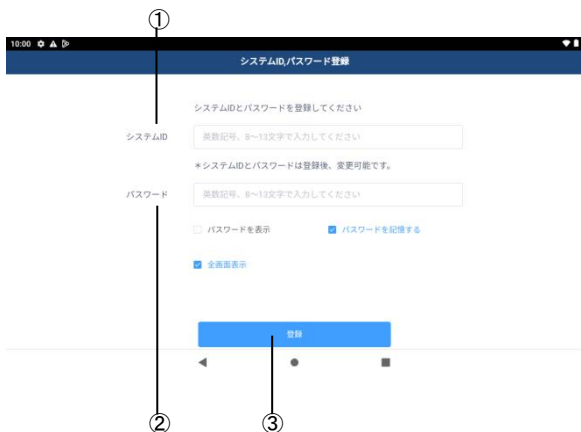


1. グーグル・クロームブラウザを起動し、タブの[+]をタップして、新しいタブを追加してください。
2. 新しいタブの①[アドレスバー]にサーバー用ゲートウェイIPアドレスを入力し、そのあとに、"/server"を入力します。
3. キーボードで[エンター]をタップすると、サーバー設定画面が表示されます。
4. サーバーのスイッチをタップして、②[サーバー設定]をONにします。サーバー設定中は、電源を切らないでください。1分後自動的に、システムID/パスワード登録画面に移動します。
 - サーバー設定がONの場合は、スイッチが緑色になります。
 - 以降の設定や操作は、サーバー用ゲートウェイに通信接続した状態で行います。
 - 1システムにサーバーは1台のみ設定してください。2台以上サーバー設定を行った場合、ゲートウェイ登録画面（25ページ参照）にゲートウェイが表示されなくなります。

5

初期設定

システムID,パスワード登録



1. グーグル・クロームブラウザから、サーバーゲートウェイに接続します。システムID,パスワード登録画面が表示されます。
●システムID,パスワードが、未登録の時のみ表示されます。
2. ①[システムID],②[パスワード]を入力します。
●システムID,パスワードは、英数字記号8~13文字で入力してください。
●システムIDの登録後の変更は、パスワード設定画面から行ってください。
●[パスワード表示]にチェックを入れると入力したパスワードを表示します。
●[パスワードを記憶する]にチェックを入れるとブラウザにパスワードを記憶します。
3. ③[登録]をタップすると、ゲートウェイに登録とログインが行われ、ホーム画面が表示されます。
●システムID,パスワード登録後に、サーバーゲートウェイに接続した時は、[システムログイン]画面が表示されます。
4. ホーム画面の④[ハンバーガーボタン]をタップし、⑤[設定]ボタンをタップすると設定画面に移動します。
●設定を続ける場合は、22ページに進んでください。
●次回からのログインは、次ページのシステムログインを行ってください。
●初回ログイン時にHOME画面が表示されないことがあります。その場合はブラウザの設定から、⑥[PC版サイト]のチェックを外してください。

5

初期設定

システムログイン



1. グーグル・クロームブラウザを起動し、アドレスバーに、サーバーゲートウェイのIPアドレスを入力し、サーバーゲートウェイに接続します。システムログイン画面が表示されます。
●システムID、パスワードが、未登録の場合は、[システムID、パスワード登録]画面が表示されます。前ページの設定を行ってください。
2. ①[システムID]、②[パスワード]を入力し③[ログイン]をタップすると、ゲートウェイにログインし、[HOME]画面が表示されます。
●[パスワード表示]にチェックを入れると入力したパスワードを表示します。
●[パスワードを記憶する]にチェックを入れるとブラウザにパスワードを記憶します。
3. ホーム画面の④[☰]ハンバーガーボタンをタップし、⑤[設定]ボタンをタップすると設定画面に移動します。次ページから初期設定を行ってください。
●23ページ以降の設定は、Fit Plus アプリの[HOME]画面からの説明になります。



ゲストモード

パソコンで複数のシステムの設定を行う場合は、ブラウザに履歴を残さないため、グーグル・クロームのゲストモードで設定を行ってください。



全画面表示

主にタブレットで、アドレスバーの表示をさせたくない場合は、全画面表示にチェックを入れた状態でログインを行ってください。

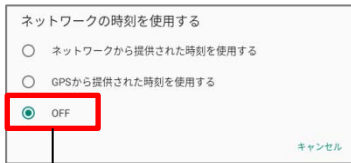
5

初期設定

時刻設定




①



③

タブレット型コントローラの時刻を設定します。

1. コントローラの待ち受け画面から、①[]設定のアイコンをタップします。
2. アンドロイドの設定画面から、[システム]▶[日付と時刻]をタップします。
3. 日付と時刻画面の②[ネットワークの時刻を使用する]をタップします。
4. ネットワークの時刻を使用するのダイアログで、③[OFF]をタップします。
5. ④[Set date]の日付設定をタップし、日付を合わせてください。
6. ⑤[Set time]の時刻設定をタップし、時刻を合わせてください。



②

④

⑤



時刻誤差について

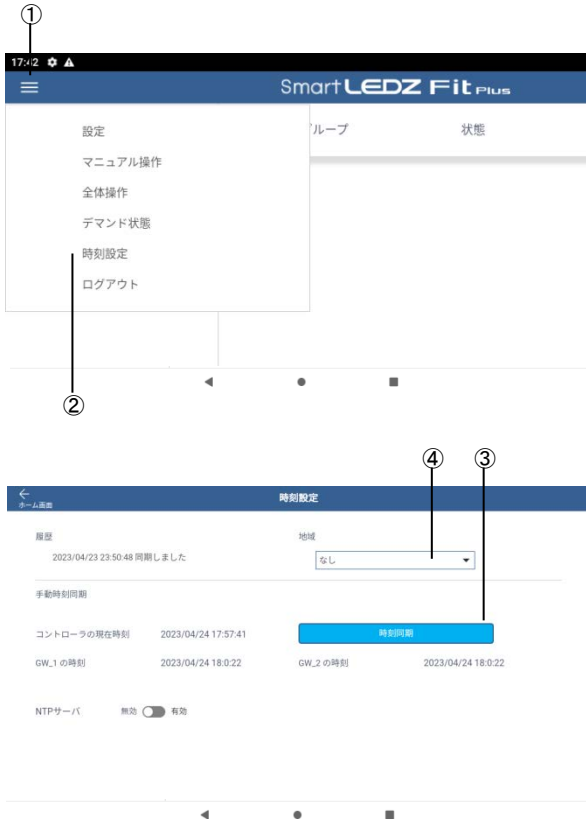
コントローラとゲートウェイに内蔵の時刻タイマーは時間経過と共に誤差が発生します。自動で時刻を補正する機能を備えておりませんので、定期的にコントローラとゲートウェイの時刻合わせを行ってください。

(誤差の目安は半年で最大約6分)

5

初期設定

時刻設定



ゲートウェイの時刻を設定します。

1. [HOME]画面の①[≡]ハンバーガーボタンをタップします。
2. ②[時刻設定]をタップします。
3. ③[時刻同期]をタップします。ゲートウェイの時刻が同期されます。時刻同期した履歴が残ります。

●日の出・日の入に合わせた、スケジュールを使用する場合は、④[地域]のプルダウンから、使用する地域を選択してください。

●NTPサーバに接続しての、時刻同期については、次ページを参照してください。

5

初期設定

時刻設定



NTPサーバから取得した時刻で、ゲートウェイの時刻同期を行う場合は、以下の設定を行ってください。

※本機能を使用するために、ルータのインターネット(WAN)ポート側が、NTPサーバに接続できる環境が必要になります。

※タイムゾーンを取得するため、予め、前ページの時刻設定を行ってください。

※NTPサーバとの時刻同期は、1日に1回実行します。

1. [HOME]▶[時刻設定]をタップします。時刻設定画面が表示されます。
2. ①[NTPサーバ]をタップし、有効にしてください。
 - 有効にすると、NTPサーバから取得した時刻で、ゲートウェイの時刻同期を行います。
3. ②[NTPサーバ]に、NTPサーバのドメイン名を入力してください。
 - 初期値は、ntp.nict.jpです。
 - IPアドレスの設定はできません。
4. ③[同期時刻]に、NTPサーバからの時刻の取得と、時刻同期を行う時刻を設定してください。
 - 0時0分～23時59分の範囲で設定してください。
 - 初期値は、0時0分です。
 - NTPサーバからの時刻の取得は1日1回実行します。
5. ④[決定]をタップすると、②,③で設定した内容が反映されます。

5

初期設定

ゲートウェイ登録



1. [HOME]▶[設定]▶[ゲートウェイ登録]をタップします。ゲートウェイ登録画面が表示されます。
2. ①[ゲートウェイスキャン]をタップします。ゲートウェイスキャン結果に、ゲートウェイが表示されます。
3. ②[点滅]をタップすると、ゲートウェイのインジケータが点滅します。システムに登録するゲートウェイを選択し、③[ゲートウェイリスト追加]をタップしてください。選択したゲートウェイがゲートウェイリストに追加されます。システムに登録するゲートウェイについて繰り返し操作を行ってください。
4. ④[保存]ボタンをタップすると、ゲートウェイリストが保存され、システムに使用するゲートウェイが連動します。
 - ⑤[削除]をタップするとゲートウェイにあるゲートウェイを消去することができます。④[保存]をタップするまでは設定は反映されません。



ゲートウェイスキャン結果について

“GW_OLD_数字”の表示があるゲートウェイが表示された場合は、画面下部のリセットをタップして初期化後、ゲートウェイリストに追加してください。



ゲートウェイのバージョン確認について

ゲートウェイリスト保存の後、バージョン情報画面にて、ゲートウェイのバージョンが同じことを確認してください。バージョンが異なる場合は、バージョンを統一するようにしてください。

5

初期設定

ゲートウェイ登録

ゲートウェイリスト編集

ゲートウェイ名	変更
GW_1	変更
GW_2	変更

ゲートウェイ名: GW_1

Wi-Fi AP SSID: endo-lighting

イーサネット IP アドレス: 192.168.11.2

イーサネット サブネットマスク: 255.255.255.0

イーサネット MAC アドレス: 40:D6:3C:1F:83:A3

メッシュID: endo2222_1 読み込み

メッシュパスワード: smartledz 読み込み

以下の内容は、必要に応じて設定を行ってください。

- ゲートウェイの設定を行う場合は、⑥[編集]をタップします。[ゲートウェイリスト編集]画面が表示されます。
- [ゲートウェイリスト編集]画面では以下の内容について確認や変更を行うことが可能です。
 - ゲートウェイ名
 - Wi-Fi AP SSID
 - イーサネットIPアドレス
 - イーサネットサブネットマスク
 - イーサネットMACアドレス
 - メッシュID
 - メッシュパスワード
 ※情報が表示されない場合、読み込みボタンを押してください。



Wi-Fi AP SSID について

複数のシステムを使用する場合は、識別のためデフォルトからの変更を推奨します。

ゲートウェイ登録

ゲートウェイ名: GW_1

メッシュID: endo2222_1

メッシュパスワード: smartledz

決定

- ゲートウェイのメッシュIDやメッシュパスワードを変更する場合は、ゲートウェイリストの各ゲートウェイの項目⑦(前ページ参照)を長押ししてください。
- メッシュID、メッシュパスワードの変更画面が表示されます。編集後に、決定ボタンを押すと、変更が反映されます。変更画面枠外を選択すると変更画面を閉じることができます。変更するゲートウェイについて繰り返し操作を行ってください。
 - メッシュIDは、英数字8～16文字で設定してください。
 - メッシュパスワードは、英数字8～13文字で設定してください。



メッシュID、メッシュパスワードの変更 について

同一システム内や近隣の別システムで、同じメッシュIDを設定しないでください。誤動作の原因になります。また、デバイスをスキャン済のゲートウェイについては、必ずゲートウェイに登録された全てのデバイスと通信できる状態にして、メッシュID、メッシュパスワードを変更を行ってください。

5

初期設定

図面登録



1. [HOME]▶[設定]▶[図面登録]をタップします。図面登録画面が表示されます。

●あらかじめ、SLエディターによる図面の作成が必要です。詳細は遠藤照明のホームページを参照してください。

●照明器具等のデバイスは、シンボルにのみ登録することができます。

●図面がない場合は、初期図面を登録していますので、そちらに配置してください。初期図面を使用する場合は以降の操作は不要です。

2. 新たに図面を登録する場合は、[ファイル読み込み]をタップします。図面ファイル読み込み画面が表示されます。

3. [タイトル]、[シンボルレイアウトファイル名]、[図面ファイル]を設定し、[決定]をタップします。

4. 登録完了後、図面登録画面に戻ります。



シンボルの追加について

プレビュー上で、長押し後、追加したいシンボルのタイプを選択し、決定することでシンボルを追加できます。



シンボルの削除について

プレビュー上のシンボルを、長押し後、決定することでシンボルを削除できます。

5

初期設定

照明配置



Smart LEDZ Fit Plus対応の機器 (デバイス)をシステムに登録し、コントローラで制御可能な状態にします。

●設定画面へ移動

1. システムに新規に追加する照明器具やセンサー等のデバイスの電源をONにします。
2. [HOME]画面から、[]をタップし、設定をタップします。
3. 照明配置 (デバイス登録) をタップします。

●照明配置 (デバイス探索と登録)

1. ①[ゲートウェイリスト]をタップし、デバイスを登録したいゲートウェイを選択してください。
2. ②[メッシュスキャン]をタップし、通信ホップ数を選択し、決定で初期状態の機器を登録します。
※③にスキャンしたデバイス数を表示します。
3. ④[図面リスト]をタップし、デバイスを配置したい図面を選択します。
4. ⑤[デバイスリスト]に表示されている機器の一覧をタップすると、対象の機器が動作します。
※照明はタップで点滅し、登録するか、他の機器をタップなど他の操作すると点滅が止まります。
5. ⑥[図面]の中のシンボルを選択して、選択中の機器を配置できます。
※配置するとシンボルの色が変わり、デバイスリストの⑤の色が変わります。
※シンボルの枠色はゲートウェイごとが変わります。
6. すべてのデバイスの配置完了後、⑦グループ設定へ移動します。



デバイスの図面登録解除について

図面に登録したシンボルを解除する場合は、図面上のシンボルを長押しすると、長押ししてデバイスの登録解除ができます。



図面の縮尺変更について

図面内をピンチイン、ピンチアウト又は、図面リスト横の+、-、〇〇%で縮尺を変更できます。



まとめて照明配置

⑧をタップして、未登録のデバイスをタイプ別にまとめて1つのシンボルに配置することが可能です。図面を作成しない場合などに、デバイスをシンボルに配置する時間が短縮可能です。



通信ホップ数について

スキャン時の通信ホップ数は、ゲートウェイと直接通信できる範囲を0ホップとして、0ホップ先のデバイスから通信できる範囲を1ホップというように、数字が大きくなるほど、通信できる範囲が広がります。通常はデフォルトの2でスキャンください。狭い範囲でスキャンしたい場合は0を選択ください。

5

初期設定

照明配置



デバイスの初期化

デバイスを初期化する場合は、削除するデバイスの電源をオンにした状態で、デバイスリストから該当のデバイスを左にスワイプし、削除ボタンを選択してください。

システムに登録されたデバイスの登録を解除(キックアウト)を行う場合は、以下の手順で行ってください。

●設定画面へ移動

1. システムから登録を解除する照明器具やセンサー等のデバイスの電源をONにします。
2. [HOME]画面から、[]をタップし、設定をタップします。
3. 照明配置 (デバイス登録) をタップします。

●デバイスの登録解除 (キックアウト)

1. ①[ゲートウェイリスト]をタップし、デバイスの登録解除したいゲートウェイを選択してください。
2. ②[デバイスリスト]に表示されている機器の一覧をタップすると、対象の機器が動作します。
※照明はタップで点滅し、登録するか、他の機器をタップなど他の操作すると点滅が止まります。
3. デバイスリストから登録を解除したいデバイスを選択し、左にスワイプします。③[削除]ボタンが表示されます。
4. ③[削除]ボタンを選択すると、確認のダイアログが表示されます。
[決定]を選択するとデバイスの登録が解除されます。
5. 複数のデバイスの登録を解除する場合は、3,4の操作を繰り返してください。

5

初期設定

設定画面の説明



設定画面は、ゲートウェイ初期登録及び設定、その他各種オプション機器の登録と設定を行います。

[HOME]画面から[設定]をタップします。

- 初期設定
 1. ゲートウェイ登録
 2. 図面登録
 3. 照明配置 (デバイス登録)
 4. グループ設定
- 基本設定
 - ①ゾーン制御
 - ②センサー制御
- 詳細設定・デバイス設定
 1. ゲートウェイ設定
 2. リモコン設定
 3. リモコンボタン設定
 4. 接点コンバータ設定
 5. 照明設定 (個別操作)
- ツール・情報
 1. ボタン設定
 2. バックアップ・リストア
 3. ファームウェアアップデート
 4. 時刻設定・地域設定
 5. パスワード設定
 6. バージョン情報
 7. モニタリング



設定について

各設定は1台の端末で行ってください。



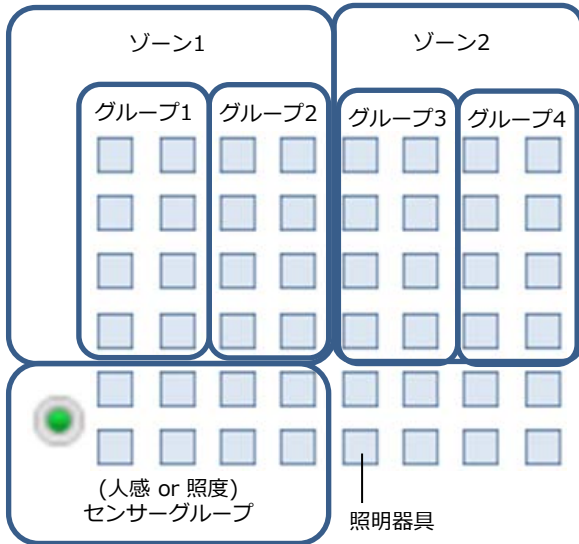
設定画面

各種設定の表示は上方向にスライドすることで表示します。

5

初期設定

制御区分の概要



●個別制御

照明器具1台ごとに明るさを制御できます。

●グループ制御

複数の照明器具をグループとして登録し、まとめて制御できます。

●ゾーン制御（シーン制御）

複数のグループをゾーンとして登録し、グループごとの明るさをシーンとして登録することで、一括してかんたんに制御できます。
※リモコンでも制御できます。

●（人感 or照度）センサー制御

グループにセンサーを登録することで、センサーからの情報を受け、状況に合わせた制御ができます。

※センサーグループはゾーンに登録できません。

●スケジュール制御

ゾーン（シーン）、センサーは、スケジュールを決め24時間オートで制御できます。

**照明器具のグループ登録数について**

照明器具は最大4つのグループに重複して登録可能です。ただし、以下の条件では誤動作の原因になるため、重複登録は行わないでください。

- 1つの照明器具を同じゾーンに登録すること。
- センサーグループの照明を他のグループに重複登録すること。
- BACnet GW等で、システムを外部から制御する場合。
- フォーリユーデバイスは重複登録できません。

**グループに登録できるデバイス数について**

全グループについて、合計3000デバイスまで登録可能です。例えば、1台の照明器具を、2つのグループに重複登録した場合は、2デバイス登録したことになります。

**照度・人感センサーについて**

1つのセンサーは1グループのみ登録可能です。1つのグループに、照度センサー、人感センサー両方を使用することはできません。

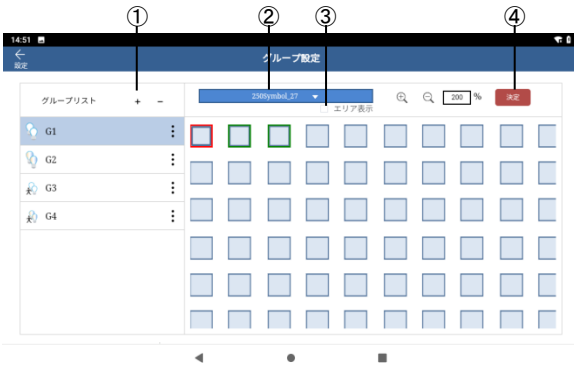
**フォーリユーについて**

フォーリユーは、専用のフォーリユーグループに登録して制御してください。調光グループに登録すると、誤動作の原因になります。

5

初期設定

グループ設定



登録した機器をグループに登録し、コントロールで制御可能な状態にします。

●設定画面へ移動

1. HOME画面から、 をタップし、設定をタップします。
2. グループ設定をタップします。

●グループ登録

1. ①[+]をタップし、[グループ名]を入力し、[グループタイプ]を選択し、[決定]をタップしてください。
※グループ名は、日本語、英数字記号の32文字まで。
2. ② 図面リストからグループに登録したい図面をタップします。
3. 配置済みの登録したい機器を選択してください。
※選択すると色が変わります。
再選択すると選択が解除されます。
※1回に登録するデバイス数は100台以下にしてください。
※エリアを使つての登録
エリアを予め登録してある場合図面リスト下の③にチェックを入れると、エリアを長押しすることで、機器を一括で選択できます。
(調光、調光調色器具が混在するエリアは選択できません。)
4. ④決定をタップすることで、確認用画面が表示されますので、[変更したシンボルのみ登録]のまま[決定]をタップします。選択中のグループ情報が保存できます。

- ※照明器具の各タイプ別、調光・調光調色(Tunable)・Synca調光調色グループに登録してください。
※センサーを使用する場合、センサーグループを作成して登録ください。
※フリーユースを使用する場合、光触媒付きフリーユースはフリーユースグループ。それ以外は、フリーユース II グループに登録してください。

グループ削除
削除したいグループ名を選択し、グループリスト横の[-]をタップすることで、削除できます。グループ削除前に、グループ内の全デバイスの登録を解除してください。

グループ名変更
名前を変更したいグループ名横の[:]をタップすることで、グループ個別画面に移動し、名前を変更できます。

アイコン	グループタイプ
	調光グループ
	調光調色グループ
	Synca調光調色グループ
	センサーグループ は53ページを確認ください。
	フリーユースグループ (光触媒付き)
	フリーユース II グループ

5

初期設定

ゾーン設定



複数のグループをゾーンとして登録し、コントローラで一括して制御できる大きなグループを作成します。

●設定画面へ移動

1. HOME画面から、☰ をタップし、設定をタップします。
2. ゾーン設定をタップします。

●ゾーン設定

1. ①[+]をタップし、[ゾーン名] [シーンフェード時間]を入力し決定をタップします。
※フリーグループはシーンフェードが設定できません。
2. グループを登録したい、ゾーン名を選択し、グループリストから登録するグループを選択します。
※最大50グループ登録可能です。
※選択すると色が変化します。
※グループは複数のゾーンに登録できません。

●ゾーン名変更

1. 名前を変更したい、ゾーンをタップし、ゾーン名の横の②[:]をタップします。
2. ゾーン詳細設定画面にて、名前を変更することができます。

●ゾーン削除

1. 削除したい、ゾーン名を選択します。
2. ③[-]をタップすることで削除できます。

●オート中のマニュアル制御

- ・オート優先は、次のスケジュールの切り替わりでオート復帰します。
- ・マニュアル優先は、マニュアル制御を継続します。オート復帰ボタンや、電源復帰時にオートで復帰します。



シーンフェード時間について

シーンフェード時間は、0秒～60分0秒の間で設定可能です。グループ重複させた場合、後に設定した内容が有効になります。※フリーグループはフェード設定されません。

5

初期設定

ゾーン設定

スケジュールフェード設定

スケジュールフェード 無効 有効 スケジュールフェード時間 分 秒

キャンセル

決定

スケジュールフェード時間設定

●スケジュールフェード時間

1. スケジュールフェード時間を編集を選択します。

注意文面が表示されますので、内容を確認の上、決定を選択。

※ゾーン内のデバイスに以下の対象リストの対象外が含まれる場合、スケジュールフェードを設定しないでください。

設定した場合、対象外のデバイスは、スケジュール動作しなくなります。

※フリーグループを含むゾーンはスケジュールフェードを設定しないでください。

2. スケジュールフェードの[有効/無効]を選択し、有効にします。
3. スケジュールフェード時間を設定します。
4. 決定を選択し、設定を保存します。

対象リスト

24/03/22時点

デバイス名	対象Ver
照明器具 1.XX、2.XX は対象外	B1.6以上 b1.2以上
PWM信号ユニット FX441W/B は対象外	Q1.2以上
位相調光ユニット FX426N は対象外	I1.3以上
無電圧a接点ユニット	対象外
有線リピータ	K1.7以上
フリーユー	対象外
フリーユーⅡ	対象外

※照明器具が1.XX、2.XXの場合、無線モジュールを交換する必要があります。



スケジュールフェード時間について

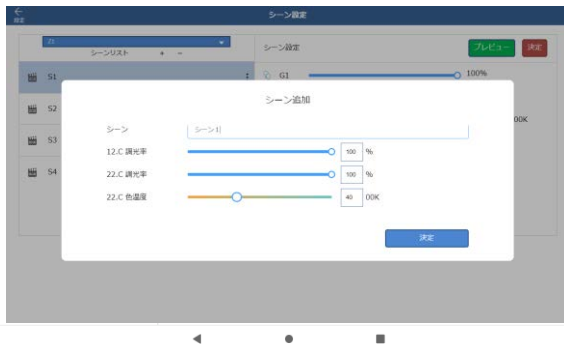
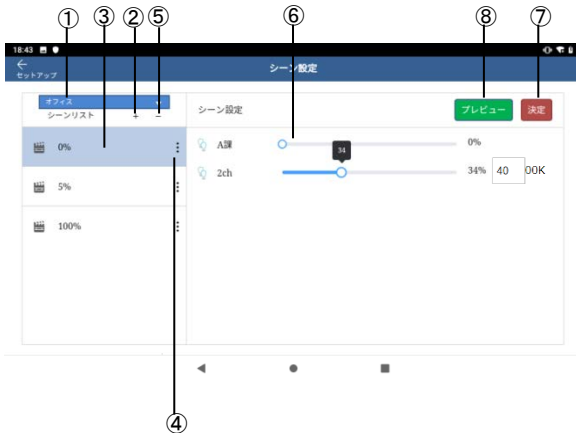
スケジュールフェード時間は、0秒～59分59秒の間で設定可能です。

スケジュールフェード時間は、スケジュール動作のみ有効で、その他のリモコン操作やシーン操作時には、シーンフェード時間が有効になります。

5

初期設定

シーン設定



1. 「HOME」画面▶[設定]▶基本設定①ゾーン制御の[①-2シーン設定]をタップします。

2. ゾーンを選択します。
①[ゾンドロップダウンリスト]からゾーンを選択します。

3. シーンを作成または選択します。

- シーンを新規で作成する場合は、②[+]をタップします。

「シーン追加」が表示されます。
[シーン名]に名前を記入し、各グループの調光率やグループタイプにより色温度やカラーを設定します。

[決定]をタップし保存します。

- シーンを選択する場合は、

③[シーンリスト]から選択します。

4. シーンを編集する場合。

- ④[⋯]をタップすると、選択したタイムテーブル名と調光率等を編集できます。

- ⑤[-]をタップすると、選択したタイムテーブルを消去します。

- ⑥[シーン設定の調光率]をスライドし、調光率等を編集できます。
- ⑦[決定]をタップすると、編集内容が保存されます。



シーンのプレビュー

シーンリストから、シーンを選択し、⑧[プレビュー]をタップすると、現在のシーン設定で、グループ単位で制御を行い、シーンを再現することができます。



設定上限数について

1ゾーンに登録できるシーンは最大15個まで登録可能です。1システムで登録できるシーン合計は250個までです。



照明器具のシーン上限数について

照明器具を複数のグループに重複登録した場合、シーン登録数は、それぞれのグループのシーンを合計して15シーンまでにしてください。

5

初期設定

シーンスケジュール設定
シーンタイムテーブルを作成する

ゾーン用の24時間のタイムテーブルを設定します。
タイムテーブルは、時間とシーンを設定します。
※時刻設定で地域設定している場合、画面の表示内容が次ページの内容になります。（日の出、日の入機能）

- 「HOME」画面▶[設定]▶基本設定①ゾーン制御[①-3シーンスケジュール設定]をタップします。
「シーンスケジュール設定」画面が表示されます。
- ゾーンを選択します。
①[ゾンドロップダウンリスト]からゾーンを選択します。
- タイムテーブルを作成または選択します。
 - タイムテーブルを新規で作成する場合は、②[+]をタップします。「タイムテーブル追加」画面が表示されます。
[タイムテーブル名]に名前を記入し、[決定]をタップします。
 - タイムテーブルを選択する場合は、③[リスト]から選択します。
- タイムテーブルを編集する場合。
 - ④[⋯]をタップすると、選択したタイムテーブル名を編集できます。
 - ⑤[-]をタップすると、選択したタイムテーブルを消去します。
- ⑥[タイムテーブル編集]をタップし選択中のタイムテーブルを編集します。
- タイムテーブルの内容を作成します。
 - ⑦[追加]をタップし、⑧[シーン]⑨[時刻]を選択し内容を作成します。
 - ⑦⑧⑨を繰り返し作成します。完成後、⑩[決定]をタップします。



設定上限数について

シーンタイムテーブルは、1ゾーン当たり最大10まで、シーン・時刻入力(シーンの切り替わり)は、最大100までです。

5

初期設定

シーンタイムテーブルの
日の出・日の入シーンを設定する

22ページの時刻設定で地域設定を設定した場合、日の出・日の入のシーンを設定します。

1. 「HOME」画面▶[設定]▶基本設定①[ゾーン制御(①-3シーンスケジュール設定)]をタップします。「シーンスケジュール設定」画面が表示されます。

2. ゾーンを選択します。
①[ゾンドロップダウンリスト]からゾーンを選択します。

3. ②タイムテーブルを選択します。

4. ③[タイムテーブル編集]をタップし選択したタイムテーブルを編集します。

5. ④[日の出]シーンを選択します。
⑤[日の入]シーンを選択します。

6. ⑥[時間調整]で、日の出、日の入の基準からの時刻調整が、それぞれ±60分の範囲、1分単位で可能です。

7. ⑦[決定]をタップして設定を保存します。



地域設定について

地域設定は、「HOME」画面▶[設定]▶ツール、情報[4. 時刻設定・地域設定]をタップし、地域のドロップダウンリストから設定してください。地域は、北海道東、北海道西、奥羽、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・山口、沖縄、宮古島、なしから設定できます。

日の出時刻

日の出時刻

日付	北海道東	北海道西	奥羽	東北	関東	中部
1月1日	6時50分	7時05分	6時55分	6時52分	6時50分	7時01分
2月1日	6時33分	6時50分	6時42分	6時42分	6時40分	6時51分
3月1日	5時54分	6時11分	6時08分	6時10分	6時11分	6時21分
4月1日	5時00分	5時17分	5時20分	5時23分	5時27分	5時37分
5月1日	4時11分	4時28分	4時36分	4時42分	4時49分	4時58分
6月1日	3時39分	3時57分	4時09分	4時17分	4時26分	4時34分
7月1日	3時40分	3時58分	4時10分	4時19分	4時28分	4時36分
8月1日	4時06分	4時24分	4時33分	4時40分	4時48分	4時57分
9月1日	4時40分	4時57分	5時02分	5時07分	5時12分	5時21分
10月1日	5時14分	5時30分	5時31分	5時32分	5時35分	5時45分
11月1日	5時51分	6時07分	6時02分	6時02分	6時01分	6時13分
12月1日	6時28分	6時45分	6時35分	6時33分	6時31分	6時31分

日の出時刻

日付	近畿	中国	四国	九州・山口	沖縄	宮古島
1月1日	7時04分	7時15分	7時09分	7時19分	7時16分	7時22分
2月1日	6時56分	7時06分	7時02分	7時12分	7時13分	7時20分
3月1日	6時27分	6時37分	6時37分	6時45分	6時53分	7時01分
4月1日	5時45分	5時55分	5時53分	6時05分	6時20分	6時29分
5月1日	5時08分	5時17分	5時18分	5時29分	5時51分	6時03分
6月1日	4時45分	4時55分	4時56分	5時09分	5時36分	5時48分
7月1日	4時47分	4時57分	4時58分	5時11分	5時39分	5時52分
8月1日	5時07分	5時16分	5時17分	5時30分	5時54分	6時05分
9月1日	5時30分	5時40分	5時39分	5時51分	6時08分	6時19分
10月1日	5時51分	6時01分	5時59分	6時10分	6時21分	6時30分
11月1日	6時17分	6時28分	6時24分	6時34分	6時37分	6時45分
12月1日	6時46分	6時56分	6時51分	7時00分	6時59分	7時05分

日の入時刻

日の入時刻

日付	北海道東	北海道西	奥羽	東北	関東	中部
1月1日	15時52分	16時10分	16時21分	16時30分	16時38分	16時46分
2月1日	16時29分	16時46分	16時54分	17時01分	17時08分	17時09分
3月1日	17時06分	17時23分	17時27分	17時32分	17時36分	17時45分
4月1日	17時43分	18時01分	17時59分	18時01分	18時02分	18時12分
5月1日	18時19分	18時35分	18時28分	18時28分	18時27分	18時38分
6月1日	18時51分	19時07分	19時07分	18時54分	18時51分	19時02分
7月1日	19時02分	19時18分	19時07分	19時02分	19時01分	19時12分
8月1日	18時40分	18時56分	18時49分	18時47分	18時45分	18時57分
9月1日	17時54分	18時10分	18時07分	18時08分	18時09分	18時19分
10月1日	17時00分	17時17分	17時19分	17時22分	17時26分	17時35分
11月1日	16時10分	16時27分	16時34分	16時40分	16時47分	16時56分
12月1日	15時43分	16時01分	16時01分	16時20分	16時28分	16時37分

日の入時刻

日付	近畿	中国	四国	九州・山口	沖縄	宮古島
1月1日	16時58分	17時07分	17時08分	17時22分	17時49分	18時01分
2月1日	17時26分	17時36分	17時36分	17時49分	18時12分	18時23分
3月1日	17時54分	18時03分	18時02分	18時14分	18時30分	18時41分
4月1日	18時19分	18時29分	18時26分	18時37分	18時46分	18時55分
5月1日	18時42分	18時53分	18時48分	18時58分	19時01分	19時08分
6月1日	19時05分	19時16分	19時10分	19時20分	19時17分	19時23分
7月1日	19時15分	19時26分	19時20分	19時29分	19時26分	19時31分
8月1日	19時00分	19時11分	19時06分	19時16分	19時16分	19時23分
9月1日	18時25分	18時35分	18時32分	18時43分	18時49分	18時58分
10月1日	17時43分	17時53分	17時51分	18時02分	18時16分	18時26分
11月1日	17時05分	17時14分	17時14分	17時26分	17時47分	17時58分
12月1日	16時47分	16時57分	16時57分	17時10分	17時36分	17時48分

5

初期設定

シーンスケジュール設定



ゾーンにスケジュールを設定します。ゾーン別に、毎日、週間、期間、特異日があり、タイムテーブルを設定します。

- 「HOME」画面▶[設定]▶基本設定①ゾーン制御[①-3シーンスケジュール設定]をタップします。
- ①「シーンスケジュール設定」をタップします。
- ゾーンを選択します。
②[ゾンドロップダウンリスト]からゾーンを選択します。
- 下記スケジュール設定をタップし、どのタイムテーブルで動作させるか選択します。
- ③[毎日スケジュール設定]
毎日のタイムテーブルを設定します。
- ④[週間スケジュール設定]
日～土曜日の個別に、タイムテーブルを設定します。
- ⑤[特異日・期間スケジュール設定]
特異日・期間のタイムテーブルを設定します。
- ⑥[編集]から内容を設定できます。

特異日・期間の上限数について
特異日・期間はそれぞれ、最大30まで(合計60まで)登録可能です。

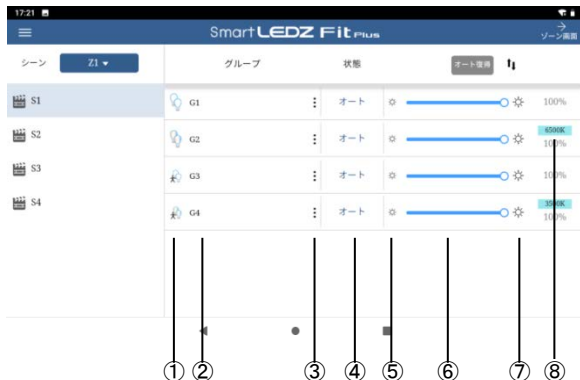
特異日・期間について
期間設定時は、12/31-1/1をまたいだ設定はできません。設定した、特異日と期間は年単位で繰り返し実行されます。

期間の開始日、終了日や特異日に2/29を設定する場合
開始日、終了日、特異日を設定するときのカレンダーの年をうるう年を含む年(例.2020年, 2024年, 2028年)にして、期間、特異日を設定してください。
例) 期間で1/1～3/10までのように設定した場合、うるう年を考慮する必要はありません。(期間として2/29も含まれます)

6

操作

ホーム画面操作



マニュアル切り換え

センサーグループのみ、状態項目をタップすることでマニュアル操作に変更できます。

センサーグループ以外は、ゾーン制御画面で変更できます。



表示について

グループ、シーンの数が多く、すべてを表示しきれない場合、上下にスクロールすることですべてを表示できます。

●グループ制御

①アイコン

②グループ名

③グループ設定に移動

④状態

オート、マニュアル、デマンドを表示します。

⑤0%点灯

⑥調光率スライドバー

設定範囲：0%~100%

⑦100%点灯

⑧色温度変更

調光調色グループ

設定範囲：2700K~6500K

Synca調光調色グループ

設定範囲：1800K~12000K

又は11x11色の選択

●シーン制御

⑨ゾーン

制御したいゾーンを選択します。

⑩シーン

制御するシーンを選択します。

●その他

⑪オート復帰

ボタンを押すと、対象ゾーンをスケジュールに復帰させます。

⑫ソート機能

グループの表示順を整理させることができます。

⑬メニュー

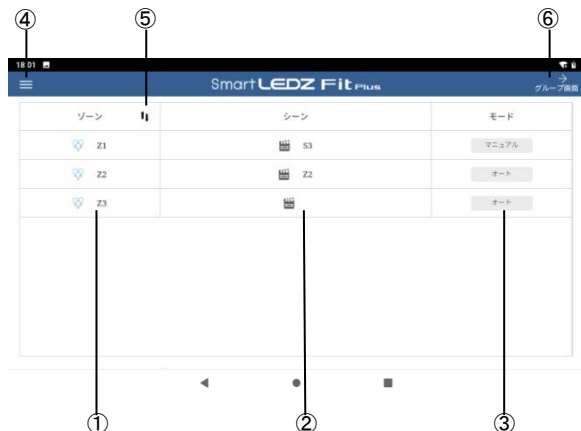
各種設定を行うことができます。

⑭ゾーン制御画面へ移動

6

操作

ホーム画面操作



●ゾーン制御

①ゾーン名

②シーン

制御したいシーンを選択します。

③モード

マニュアル/オートを切り換えることができます。

●その他

④メニュー

各種設定を行うことができます。

⑤ソート機能

ゾーンの表示順を整理させることができます。

⑥グループ制御画面へ移動

i シーン制御

オートの状態では、シーンを変更できません。モードの項目をタップし、マニュアルに切り替えると変更できるようになります。

i ゲートウェイ電源起動時の表示について

ゲートウェイの電源起動時は、オート動作の状態がホーム画面に反映されませんので、オート復帰ボタンを押して、画面を更新してください。

i フーリュウグループについて

フーリュウグループは、以下の状態が制御可能です。

- ・モード:強、風向き:下面
- ・モード:弱、風向き:下面
- ・モード:除菌、風向き:下面
- ・モード:停止
- ・モード:除菌、風向き:側面
- ・モード:弱、風向き:側面
- ・モード:強、風向き:側面

i フーリュウIIグループについて

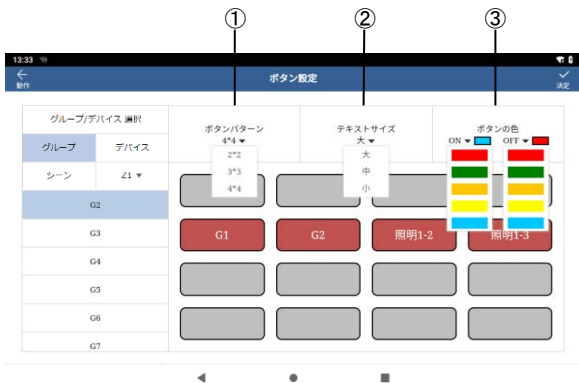
フーリュウIIグループは、以下の状態が制御可能です。

- ・強
- ・中一強 : 7段階
- ・中
- ・弱一中 : 5段階
- ・弱
- ・停止

6

操作

個別操作



1 HOME画面からメニュー（☰）をタップしマニュアル操作をタップしてください。

2 ボタン設定をタップしてください。

● ボタン設定

① ボタンパターン

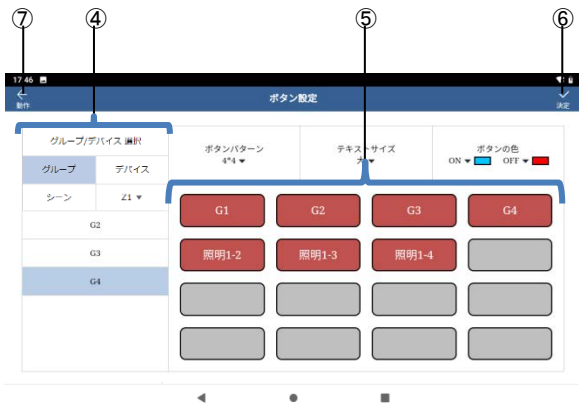
ボタンの配置数を設定できます。
(2×2, 3×3, 4×4, 4×8, 4×12)

② テキストサイズ

ボタン内に表示されるテキストサイズを変更できます。

③ ボタンの色

ONとOFFのときのボタンの色を変更することができます。



● ボタン登録

④ グループ、デバイス、シーン、オート/マニュアル選択

ボタンに登録したい、グループ、デバイス、シーン、モードを選択できます。

⑤ ボタン

ボタンをタップすることで、選択中のグループ、デバイス、モードを登録できます。

⑥ 決定

設定登録したものを保存できます。保存すると自動的に操作画面へ移動します。



ボタンの登録解除

登録済みのボタンを再度タップすることで、登録済みのボタンを解除できます。

● その他

⑦ 操作画面へ

ボタン操作画面へ移動します。

6

操作

個別操作



HOME画面からメニュー（☰）をタップしボタン操作をタップしてください。

●個別操作

①ボタン

ON/OFFを切り替えます。

②調光率スライドバー

設定範囲：0%～100%

③色温度変更

調光調色グループ

設定範囲：2700K～6500K

Synca調光調色グループ

設定範囲：1800K～12000K

又は11x11色の選択

④オート復帰

ボタンを押すと、対象ゾーンをスケジュールに復帰させます。

●その他

⑤HOME画面

HOME画面へ移動します。

⑥ボタン設定

ボタン設定画面へ移動します。

6

操作

全体操作



メッシュネットワークに登録されている全ての照明器具およびデバイスに対し、調光・調色することができます。メッシュネットワークに登録されていない照明器具およびデバイスも対象になります。

1. ALL操作

システムに登録されているすべての照明器具の調光、調光を変更します。

2. オート復帰

オートモードを設定しているゾーンがオート動作に戻ります。

3. 戻るボタン

HOME画面に戻ります。



フリーグループのALL操作について

フリーグループのALL操作を行う場合は、以下で制御されます。

ALL 100%の場合は、モード:強、風向き:下面

ALL 0%の場合は、モード:強、風向き:側面



フリーIIグループのALL操作について

フリーIIグループのALL操作を行う場合は、以下で制御されます。

ALL 100%の場合は、強

ALL 0%の場合は、停止

← 戻る

ゲートウェイ設定

GW_1	メッシュID	plus2_1	
GW_2	メッシュパスワード	smartlodz	
	Wi-Fi AP SSID	plus2	編集
	Wi-Fi AP パスワード	12345678	編集
	Wi-Fi 暗号化	WPA2_PSK	編集
	Wi-Fi チャンネル	11	編集
	Wi-Fi 仕様	n	編集
	自動時刻同期	OFF	編集
	MCUバージョン	2.30	読み込み
	Appバージョン	2.30	読み込み
	GW WLANバージョン	0.031	読み込み
	GW WPANバージョン	Z1.V	読み込み
	Wi-Fi MACアドレス	40:D6:3C:39:54:BA	
	Wi-Fi IPアドレス	192.168.16.254	
	Wi-Fi サブネットマスク	255.255.255.0	
	Wi-Fi デフォルトゲートウェイ	192.168.16.255	
	イーサネット MACアドレス	40:D6:3C:39:54:09	
	イーサネット IPアドレス	192.168.11.2	
	イーサネット サブネットマスク	255.255.255.0	
	イーサネット デフォルトゲートウェイ	192.168.11.255	
	デバイス量検非接続		検出
	一括設定マッチング		編集
	無線モジュールのステルス設定	OFF	編集
	電源差動時の調光率で制御	OFF	編集
	接続不可デバイスの範囲		編集
	ゲートウェイ シャットダウン		停止
	オールオフ	100%	オールオン
			再起動

1. ゲートウェイリスト

設定確認したいゲートウェイを選択できます。

2. 以下は設定編集ができます。

※編集した場合最後にゲートウェイの[再起動]をタップしてください。

- Wi-Fi AP SSID
Wi-Fi接続する際に表示される名前
- Wi-Fi AP パスワード
Wi-Fi接続する際に必要なパスワード
- Wi-Fi 暗号化
Wi-Fi通信の暗号化方式
- Wi-Fiチャンネル
Wi-Fi通信のチャンネル
- Wi-Fi仕様
Wi-Fiの通信規格 b/g, n
- 自動時刻同期: ON/OFF
※設定では英数字で設定してください。
以下は設定確認ができます。

- メッシュID
- メッシュパスワード
- MCUバージョン
- APPバージョン
- GW WLANバージョン
- GW WPANバージョン
- Wi-Fi MACアドレス
- Wi-Fi IPアドレス
- Wi-Fi サブネットマスク
- Wi-Fi デフォルトゲートウェイ
- イーサネットMACアドレス
- イーサネットIPアドレス
- イーサネットサブネットマスク
- イーサネットデフォルトゲートウェイ

以下は操作することができます。

- 無線モジュールのステルス設定
特定のデバイスについて、電波干渉対策を設定することができます。
- オールオフ/オールオン
ゲートウェイごとに制御下にあるすべての照明器具の調光率を変更できます。
- ゲートウェイの再起動
- 一括設定マッチングは、デバイスの設定をゲートウェイの設定に合わせる機能です。通常は使用しません。

Wi-Fiの設定変更について

ゲートウェイとWi-Fi通信した状態で、Wi-Fi AP SSID, Wi-Fi AP/パスワード, Wi-Fi暗号化、Wi-Fiチャンネル、Wi-Fi仕様の設定の変更を行う場合は、設定を反映するため、変更から3分後に、Wi-Fiの再接続を行ってください。

ゲートウェイを電源OFFする場合

ゲートウェイ シャットダウンから、シャットダウンを行った後に、電源OFFにしてください。サーバゲートウェイをシャットダウンするとシステム全てのゲートウェイが、サーバゲートウェイ以外は、選択したゲートウェイをシャットダウンします。

シーンセクターリモコン設定 (ハンディ & 壁付)



FX-431W・FX-431WA
(シーンセクターハンディリモコン)



FX-427W・FX-427WA
(シーンセクター壁付リモコン)

■はじめに

シーンセクターハンディリモコン(FX-431W・FX-431WA)とシーンセクター壁付リモコン(FX-427W・FX-427WA)は、Fit/FitPlusシステム専用の無線通信方式のリモコンです。

メッシュ通信を経由し照明を制御することが出来ます。あらかじめコントローラで設定したシーンをリモコン1台あたり最大6シーンまで登録し、再生することができるリモコンです。

リモコンで照明を制御するためには、コントローラからの設定が必要になります。リモコン単体でのご使用はできません。

コントローラであらかじめ設定済みのシーンの中からシーンを選び、シーンセクターリモコンのシーンボタンに紐付けの設定を行うことで、シーンの再生ができます。

■注意事項

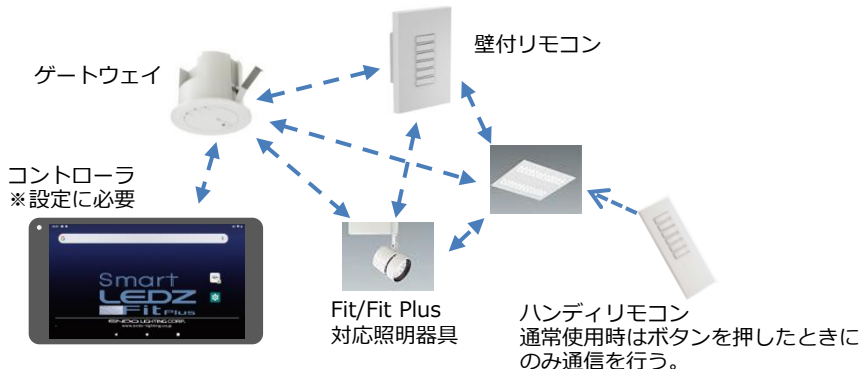
シーン切替えや照明の調光率を無線通信で制御するため、リモコンボタンを押してから、反応するまで時間がかかる場合があります。

同一メッシュネットワーク内の見通し半径25m以内でご使用ください。壁などで囲まれた空間の場合は通信距離が短くなります。同じシステム内でも、他のメッシュネットワークとは通信できません。

Fit Plusシステムでは、1ゾーンで15シーンの中から6シーンを選択登録することができます。

※ゾーンをまたいでのシーン登録はできません。

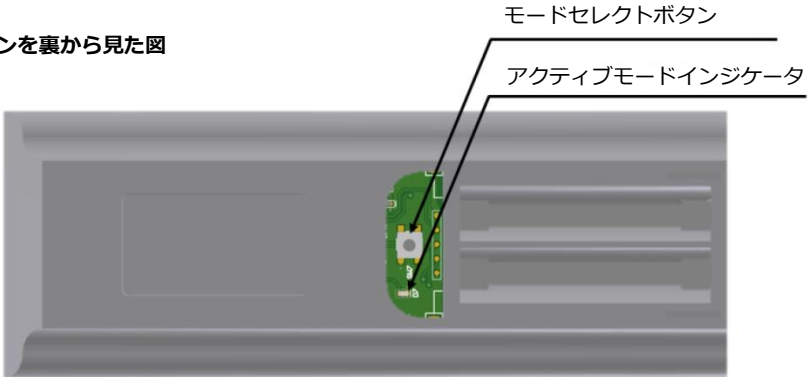
■シーンセクターリモコンをご使用の際に必要なシステム構成



ハンディリモコン モード切替

モード切替機能はハンディリモコンにのみ存在する機能です。

■リモコンを裏から見た図



電池カバーを外すとモードセレクトボタンがあります。
初期状態、または通常使用時はスリープモードで使します。

設定変更の際にモードセレクトボタンを押して、アクティブモードにしてください。
電池の消費量が多いため、設定が完了次第、モードセレクトボタンを再度押し、スリープモードに移行してください。

■注意事項

モードセレクトボタンを10秒以上長押しすることで設定が初期化されます。

■インジケータ動作表

インジケータ	動作	説明および状態
アクティブモード インジケータ ※ハンディリモコン (FX-431W・ FX-431WA)のみ	点灯	アクティブモード
	消灯	スリープモード
	点滅	初期化完了時
シーンボタン1～6 インジケータ	点灯	シーン1～6ボタンを押した時
	1～6全て 点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイス探索時に通信できたとき ・リモコン設定画面から選択したとき



複数ゲートウェイのゾーンをリモコンで制御する場合

複数のゲートウェイのメッシュネットワークを跨いだゾーンを、リモコンで制御する場合は、シーンセクターハンディリモコン(FX-431WA)とシーンセクター壁付リモコン(FX-427WA)の方を使用してください。

7

詳細設定

シーンセレクトーリモコン設定



※ハンディリモコンの設定編集及び操作はアクティブモードに切り替える必要があります。

①. デバイスリスト
照明配置が完了している
リモコンが表示されます。

②. 状態表示
以下の設定確認ができます
・接続状態
・ファームウェアバージョン
・MACアドレス

以下の設定編集ができます
・リモコン名

③. インジケータ点滅ON/OFF
デバイスリストで選択しているリモコンを特定したいときにタップします。1~6ボタンのインジケータが点滅し、停止する場合はもう一度タップします。

④. ボタン配置リセット
リモコンボタン設定済の設定情報を削除します。

⑤. ボタン設定
リモコンボタン設定画面に遷移します。

リモコンボタン設定



※事前にリモコンの照明配置とシーン登録を完了させた状態で設定を行います。

※ハンディリモコンの設定は1台ずつアクティブモードに切り替えて順番に行ってください。

- ①. リモコン選択
デバイスリストから設定するリモコンを選択します。
- ②. ゾーン選択
①で選択したリモコンを、ボタン別にどのゾーンを使用するか選択します。
- ③. シーン選択
ボタン別に、シーンリストからシーンまたはオート復帰を選択します。
※ゾーンを選択した状態のオート復帰は、そのゾーンのみのオート復帰になります。
ゾーンを選択しない状態でのオート復帰は、全ゾーンのオート復帰になります。
- ④. フェード
シーンフェードまたは、照明フェードを選択します。

- ⑤. 決定
1~6のボタン設定が完了すると決定をタップします。
※決定ボタンを押した後、リモコンのインジケータが点滅するので、点滅が終わるまでは次の操作は行わないでください。

- ⑥. 設定
設定画面に遷移します。

※ハンディリモコンはモードセレクトボタンを押してスリープモードに切り替えます。

- ⑦. リモコン設定
リモコン設定画面に遷移します。



リモコンのフェード設定について

シーンフェードは、ゾーン設定のシーンフェード時間で動作します。シーンフェードを長時間の設定にしていると、リモコン操作時のシーン切り替えにも同じ時間がかかります。スケジュール設定の都合で、シーンフェード時間は変更できないが、リモコン操作時には、より短時間でシーンを切り替えたい場合には、照明フェードもしくは、スケジュールフェードの使用を推奨します。照明フェードの初期値は0秒で、照明フェードの設定はグループ単位またはデバイス個別で行えます。



リモコンでのシーン制御について

リモコンは、同じメッシュネットワーク内で通信を行う制限がありますが、他のメッシュネットワークにある、同じゾーンの照明については、ゲートウェイ経由でシーン制御が行われます。

センサー設定 センサー使用上の注意点



①OK：センサーグループに照明器具とセンサーを登録します。人感センサーの場合10台まで1グループに登録可能です。



②NG：センサーグループの照明は、他の照明グループやセンサーグループに重複設定することはできません。

※設定状態によりセンサースケジュールのパターン切り替わり時間は最大1分かかることがあります。



センサーB または
シーンスケジュール

i センサーグループについて
センサーグループのセンサーと照明は、同じゲートウェイのメッシュネットワークに登録してください。



使用するセンサは全てキャリブレーションを以下の手順で実施してください。

1. キャリブレーションを行うセンサーグループの照明器具を100%調光、外光の影響がない夜間などの環境にします。
2. 明るさ検知の[更新]をタップし [キャリブレーション]をタップ、センサー直下の照度を入力し [決定]をタップします。

- ・フェード時間
センサー制御時のフェード時間
FX428WA/BAのみで構成されるセンサーグループの場合フェードイン/アウト共に適応されます。
- ・明るさ検知
センサーが検知している明るさでキャリブレーション時のLuxの値に相当します。
- ・表面反射率
明るさ検知の補正值
- ・インジケータ点滅ON/OFF
設定中のセンサー特定時に使用します。
- ・再起動
- ・人感感度
通常6で使用します。
感度：強 1～1 5 弱
- ・照度感度
キャリブレーション時に自動選択されます。
感度：強 1～7 弱

センサーグループ設定




センサーグループ設定を作成します。作成方法は、グループ設定のページを参照ください。

照明グループとは別に、センサーグループを設定することで、照度/人感センサーのいずれかに連動した動作が可能になります。センサータイムテーブルを設定することで、1日の動作パターンを作成することができます。

また、1日の動作パターンを、センサースケジュール設定でセンサーグループごとに、毎日や、曜日毎に違うスケジュールで動作させたり、特定の日だけ、違うスケジュールで動作させたりすることができます。

※フリーユースは登録できません。

アイコン	グループタイプ
	人感センサー 調光グループ
	人感センサー 調光調色グループ
	人感センサー Synca調光調色グループ
	照度センサー 調光グループ
	照度センサー 調光調色グループ
	照度センサー Synca調光調色グループ



設定上限数について

センサーパターンは、最大20パターンです。



照度モード、人感モードでの色温度制御設について
調光調色やSynca調光調色グループの色温度制御を行う場合、センサーはFX428BA/WAを使用してください。

センサーパターン作成は以下の手順です。

1. センサーパターンリストの[+]をタップします。
2. パターン名の入力とセンサーモードを選択して[決定]をタップします。
3. センサーパターンリストから作成したパターンを選択し、詳細な設定値を入力していきます。

■センサーモード：照度

- ・照度モード
次ページ参照
- ・上限調光率
センサースケジュール動作中の上限調光率を設定します。
- ・下限調光率
センサースケジュール動作中の下限調光率を設定します。
- ・消灯オプション [100~200%]
外光のみで目標照度×設定%以上の照度が確保できている場合、下限調光に関係なく消灯させる機能。
- ・色温度
調光調色又はSynca調光調色グループの場合、色温度を設定できます。

■センサーモード：人感

- ・人感モード
次ページ参照
- ・点灯オプション [0~100%]
外光のみでキャリブレーション時照度×設定%以上の照度が確保できている場合、人感検知しても点灯させない機能。
- ・色温度
調光調色又はSynca調光調色グループの場合、色温度を設定できます。

■センサーモード

・センサーモード：照度

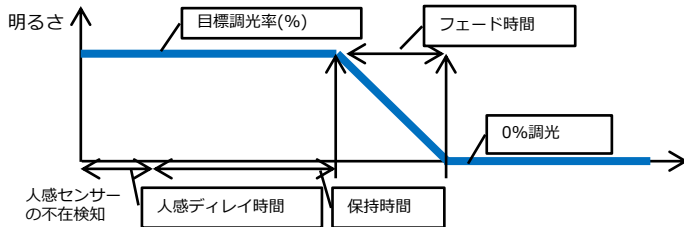
照明器具の光 + 外光 = 目標照度 になるように調光率を制御します。

・センサーモード：人感

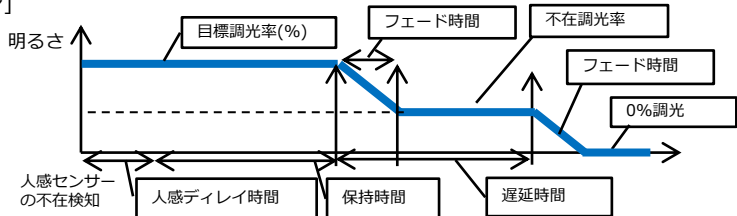
人感検知後、目標調光率で点灯し、その後の動作はパターンにより異なります。
以下の図にパターン別の動作を示します。

※FX428BA/WAのみで構成されるセンサーグループではフェード設定された値が
全てのフェードイン/アウトに適用されます。

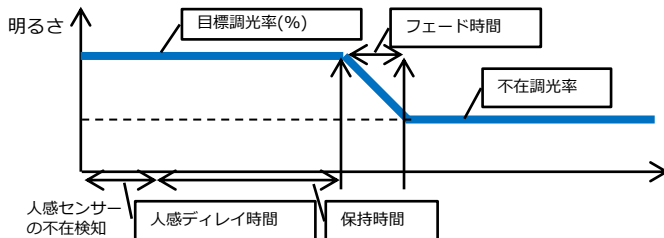
[不在消灯パターン]



[不在省エネパターン]



[不在残置パターン]



センサータイムテーブル設定



センサータイムテーブル作成は以下の手順です。

1. タイムテーブルリストの[+]をタップします。
2. タイムテーブル名の入力後、[決定]をタップします。
3. タイムテーブルリストから作成したタイムテーブルを選択し、編集をタップします。
4. 0:00時からセンサーパターンと開始時間を設定します。すべての入力が完了すると[決定]をタップします。
5. 必要なタイムテーブルがすべて作成できると[センサースケジュール設定]をタップします。

※センサータイムテーブルは、システム最大20まで、1タイムテーブル当たり、48回のシーン切替設定が可能です。



センサースケジュールの切り替わり時の遅延について

センサースケジュール切り替わり時刻から、センサーへ新しいパターンの転送を行います。1センサーグループへ、センサーパターンの転送が完了するまで通常約30秒かかります。



人感センサーパターンの切り替わりについて

人感センサースケジュール動作中の、センサーパターンの切り替わりについて。センサーパターンの転送完了後、初めて人感検知した後の切り替わりになります。

センサースケジュール設定



センサースケジュール設定は以下の手順です。

1. センサーグループリストから設定したいグループをタップし選択します。
2. 毎日、週間、期間、特異日の設定を行います。

※重複する日は、毎日<週間<期間<特異日の順に優先されます。

※期間、特異日は、それぞれ最大30まで設定可能です。

※期間は、12/31-1/1をまたいだ設定はできません。

※期間、特異日は、毎年繰り返しの動作になります。特定の年のみの動作は設定できません。



センサースケジュールの設定について

センサースケジュールにパターンを設定した時に、通信を行いセンサーに設定を保存します。この設定は通信環境により最大1分かかります。

期間の開始日、終了日や特異日に2/29を設定する場合

開始日、終了日、特異日を設定するときのカレンダーの年をうるう年を含む年(例.2020年, 2024年, 2028年)にして、期間、特異日を設定してください。

例) 期間で1/1~3/10までのように設定した場合、うるう年を考慮する必要はありません。(期間として2/29も含まれます)

センサースケジュールを設定しない場合



センサーグループの運用について、1つセンサーパターンでのみの運用で、センサースケジュールで複数のパターンを切り替えしなくてもよい場合は、グループ設定のデフォルトパターンを使用して、スケジュール設定の代わりにすることも可能です。

●前ページのセンサースケジュールとの併用はできません。

1. 「HOME」画面▶[設定]▶[グループ設定]をタップします。グループリストから、対象のセンサーグループを選択し、グループ名の横の[:]をタップし、[詳細]をタップします。
2. [デフォルトパターン]にセンサーパターンを設定します。
3. 「HOME」画面で対象のセンサーグループを選択し、状態を[オート]にします。

照明デバイスの詳細設定



照明器具デバイスの詳細を任意で設定することができます。

1. 「HOME」画面▶[設定]▶詳細設定[5.照明設定]をタップします。
2. 「デバイスリスト」から照明デバイスを選択し、「照明設定」画面が表示されます。
3. 照明設定では、デバイスのファームウェアバージョン確認及び照明器具名称・調光率・色温度・上限調光率・下限調光率・フェード時間・グループの設定変更が可能です。

設定後、[←設定]押しして設定を終了します。



- 設定マッチングは、デバイスの設定をゲートウェイの設定に合わせる機能です。通常は使用しません。



照明フェード時間について

0秒～4分15秒まで設定可能です。

照明フェードは、以下の状態で有効です。

個別制御、グループ制御、デマンド制御、リモコン設定の照明フェードを有効にした場合のリモコン制御。

※フリーユースはフェードを設定できません。

接点コンバータ設定



接点コンバータの設定を行います。

- 接点コンバータは1システムに1台まで、24時間給電にしてください。
- 接点コンバータを使用するには、サーバークラウドウェイのIPアドレスを192.168.11.2に設定します。
- 接点コンバータの設定は、接点コンバータの接点入力がおフの状態で行ってください。

1. 「HOME」画面▶[設定]▶詳細設定 [4.接点コンバータ設定]をタップします。

2. 以下は設定編集ができます。

- ・接点入力
接点入力の有効/無効を設定します。
- ・接続先GWのIPアドレス
接点コンバータが接続するサーバGWのIPアドレスを設定します。
- ・接点入力極性
接点のa/b極性を設定します。
- ・検出遅延時間
接点入力がおオンを検出する遅延時間です。10m~1000msで設定します。
- ・接点コンバータ IPアドレス
- ・接点コンバータ サブネットマスク
- ・接点コンバータ デフォルトゲートウェイアドレス

以下は設定や状態の確認ができます。

- ・デマンド状態
接点コンバータの入力の状態が確認できます。
- ・デマンド履歴表示
デマンド履歴の確認、テキスト出力が可能です。
- ・ファームウェアバージョン
接点コンバータのファームウェアバージョンが表示されます。
- ・MACアドレス
接点コンバータのMACアドレスが表示されます。

設定後、[←設定]押して設定画面に戻ります。



接点コンバータ本体アドレス

接点コンバータのIPアドレスは、192.168.11.60になりますので、ルーター側の設定を合わせるようにしてください。



デマンド制御について

デマンド制御を有効にしたグループは、デマンド発生中は、デマンド調光率、デマンド色温度で設定した状態(DUVも含む)で制御されます。ただし、調光率は、デマンドが発生した時点の調光率と比較し、低い方の調光率で制御されます。デマンドが停止すると、オート運転の場合は、現在のスケジュールに復帰します。マニュアルの場合は、デマンド発生前の状態に戻ります。



デマンド制御中のオート運転について

デマンド制御中は、オート運転中でもスケジュールの切り替わりが来てもスケジュールは切り替わりません。



センサーグループのデマンド制御について

センサーグループは、デマンド制御を行うことはできません。

接点コンバータ設定

接点コンバータの接点入力の状態(デマンド発生/デマンド停止)に連動させる照明グループについて、設定を行います。

1. 「HOME」画面▶[設定]▶[グループ設定]をタップします。グループリストから、対象の照明グループを選択し、グループ名の横の[⋮]をタップし、[詳細]をタップします。
2. デマンドの設定を行います。

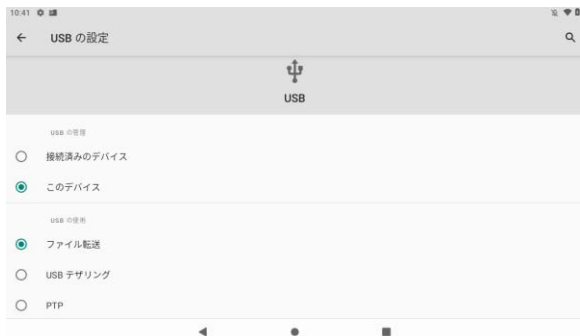


設定後、[←設定]を押して設定画面に戻ります。

●デマンド制御を有効にしたグループは、デマンド発生中、「HOME」画面のグループの状態の表示が[デマンド]になります。

●デマンド切替時には、グループの現在の調光率とデマンド調光率を比較し、低い方に遷移します。デマンド調光率に遷移しない場合、デマンド色温度にも切替わりません。

パソコンとタブレット型コントローラをmicroUSBケーブルで接続する方法



パソコンから図面データやファームウェアアップグレードデータをコントローラに転送する際の接続手順です。

1. ケーブル接続
データ通信用microUSBケーブルで、パソコンとコントローラを接続します。
2. USB設定画面
コントローラ画面に画面上部から下方向にスワイプし「通知パネル」を表示させます。[このデバイスをUSBで充電中]と表示されている箇所をタップしUSB設定画面を開きます。
3. ファイル転送設定
USB使用の[ファイル転送]を選択します。
4. パソコン側からは、コントローラがストレージとして認識し、図面データやファームウェアアップデートデータなどコントローラに転送することができます。パソコン上からは、コントローラのデータへは、以下のフォルダにアクセスします。“コンピュータ¥***** (コントローラ名)¥内部共有ストレージ ¥Download”
5. データ転送の確認後、パソコンとコントローラからmicroUSBケーブルを取り外して、接続を終了します。

⑩

①

②

③

④

⑧

⑨

デバイス	トータル	ノーマル	無効
総計	132	122	10
ゲートウェイ	3	1	2
センサー	19	19	0
リモコン	3	3	0
PWMユニット	0	0	0
無線LAN接続ユニット	0	0	0
中継機	4	4	0
位置検知ユニット	0	0	0
グループ登録デバイス数	183	-	-

⑤

⑥

⑦

各種デバイスの通信状態を確認することができます。

1 HOME画面からメニュー（☰）をタップし設定をタップしてください。

2 ページ下部にあるモニタリングをタップしてください。

●モニタリング内容

①デバイス

②トータル

項目のデバイス合計数を表示

③ノーマル

通信できている台数を表示

④無効

通信できていない台数を表示

⑤グループ登録デバイス数

グループに登録したデバイス数を表示します。

※3000を超えるデバイスは登録できません。

⑥接点入力

接点コンバータの接点入力の有無を表示

⑦リンク状態

接点コンバータとの通信の有効無効を表示

⑧情報更新時間

最終の情報更新した時間を表示

⑨更新

モニタリングを更新します。

●その他

⑩設定画面へ移動

① 詳細ボタン

無効のデバイスがある時のみ表示されます。

無効なデバイスIDとデバイス名を確認することができます。



※アップデートを行う際は専用のアップデートファイルが必要です。

※アップデート手順は変動することがある為、詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。

アップデート手順は必ず以下の順で行います。

- ①MCU
- ②アプリ
- ③デバイス
- ④Wi-Fi

1. ファイル選択
ファームウェアファイルを指定します。
2. ファイル種類
選択するファイル種類は以下
MCU : BL2ファイル
アプリ : TARファイル
Wi-Fi: BINファイル
デバイス : BINファイル
3. ラジオボタン
選択後、ドロップダウンリストが表示されるものはアップデート対象のデバイスを選択してください。
4. アップデート
ボタンをタップすると実行されません。
5. 状態表示欄
アップデートが開始されると進捗状況が表示されます。アップデートが完了するまでゲートウェイやコントローラ、デバイスの電源をONにしておいてください。※ハンディリモコンの場合アクティブモードにします。
※アップデートが完了していないゲートウェイがある場合やアプリ、WiFi、デバイスのアップデートが未完の場合、手順1～5を行ってください。
6. 設定
設定画面に戻ります。

⑩



「HOME」画面▶[設定]▶ツール・情報 [2.バックアップ・リストア]をタップします。

①. バックアップ

設定データを保存します。

コントローラかゲートウェイに保存先を選択します。

※設定完了後に、バックアップを取得してください。

※コントローラは、設定操作している端末です。

以下②～⑨は通常使用しません。

②.リストア

③.インポート

④.エクスポート

⑤.データ送信

⑥.ログ

⑦.APIログ

⑧.ログオプション

⑨.デバイス

⑩. 設定

設定画面に遷移します。



バックアップについて

無線通信で、バックアップデータの保存に失敗する場合は、コントローラをゲートウェイに近づけて、通信環境の良い状態で再度保存を行ってください。



リストアについて

バックアップで保存したファイルから、設定を復元することができます。別システムのバックアップデータでリストアを行うと、システムを使用できなくなりますので行わないでください。

19:03 システムID、パスワード設定

システムID 英数字記号、8～13文字で入力してください

新システムID 英数字記号、8～13文字で入力してください

新システムID(再入力) 英数字記号、8～13文字で入力してください

旧パスワード 英数字記号、8～13文字で入力してください

新パスワード 英数字記号、8～13文字で入力してください

新パスワード(再入力) 英数字記号、8～13文字で入力してください

パスワードを表示する

入力リセット 決定

設定画面でセキュリティのため変更を抑制したい機能に設定するパスワードを変更できません。

以下の機能を開くときにパスワード（同一）が要求されます。一度パスワードを入力すると、アプリを終了するまでパスワード要求画面は表示されません。

・ホーム画面、セットアップ、システムパスワード設定

旧システムID入力
新システムID入力
新システムID再入力
旧パスワード入力
新パスワード入力
新パスワード再入力

決定ボタン

パスワードは、マニュアルのメモに記載保存するなど忘れないようにしてください。

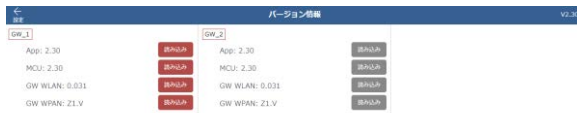
8

ツール・情報

バージョン情報



セットアップ画面、ツール・情報
「6.バージョン情報」で確認する
ことが出来ます。



■ 施工について

Q 見通し25mについて詳しく教えてください。

A 見通しとは、タブレットなど各ユニットから見て、通信するユニットが見通しできることです。壁・柱・断熱材など障害物がある場合は、短くなります。施工時に、設置環境を十分確認していただき、施工お願いします。

Q 設置場所には他の2.4GHz機器があります。通信は可能ですか。

A 同じ周波数帯（2.4GHz）の機器がある場合、電波干渉による通信障害が起きる可能性があります。メッシュ方式の通信は空きチャンネルを探して通信し最小限に障害を抑えています。Wi-Fi通信においては任意にチャンネルを変更し空きチャンネルがあれば干渉を回避することが出来ます。設置環境によっては有線調光タイプの器具をお勧めします。

Q Fit Plus以前のSmart LEDZシステムを導入しています。同じシステムとして共有できますか

A 本システムは従来のSmart LEDZと仕様が変わっています。同じコントローラを使用し制御することはできません。別システムとして施工・設定をお願い致します。

Q 隣接する店舗に同じシステムを導入する予定です。なにか問題がありますか。

A 同時に設定作業すると、隣接する店舗のユニットを検出します。設定時間をずらして行ってください。

Q 運用中に一部の照明の電源をOFFすることがあります。なにか問題がありますか。

A 電源OFFした照明より遠くにあるデバイスにメッシュネットワーク通信が届かなくなる可能性があります。あらかじめ、照明の電源をOFFにする範囲が分かる場合は、その範囲の通信を中継できるように、24時間給電のデバイスを設置することをおすすめします。

Q ゲートウェイ1台のシステムですがルーターが必要ですか。

A ゲートウェイ1台の場合もルーターを使用してください。

■ 設定について

Q 照度センサーは何台まで接続できますか

A 照度センサーは、1グループに1台まで接続することができます。

Q システムに接続できるLED照明器具は何台ですか。

A LED照明器具は1ゲートウェイあたり最大250台接続することが可能です。ただし、ゲートウェイ、リモコン、センサーを接続した場合は、それらを含む最大が250台となり、最大12ゲートウェイの連結により最大3000台接続できます。

Q グループ、シーンの登録はいくつまでできますか。

A 1システムあたりグループは200、ゾーンは50、1ゾーンあたりのシーンは15まで登録できます。センサーグループは、1ゲートウェイあたり5グループまでです。

Q 人感センサーと照度センサーを同一グループで設定・接続できますか。

A 人感センサーと照度センサーを同一グループで使用することはできません。

Q 人感センサーは何台まで接続できますか

A 人感センサーは、1グループに10台まで接続することができます。

Q 照度センサーと連動して照明の色温度の制御はできますか。

A 照度センサーと連動して照明の色温度を制御することはできません。

Q 壁付け/ハンディタイプ シーンセクターリモコンにシーン登録はいくつまでできますか。

A 各リモコンに6シーンを登録できます。1ゲートウェイあたり壁付けタイプとハンディタイプ合計10台まで使用することができます。

Q 設定の変更を行うことがあります。なにか問題はありますか。

A 設定の変更は、システムに含まれる全てのデバイスを電源ONの状態にして行ってください。設定の変更は、該当のデバイスと通信を行います。全てのデバイスの電源をONにしない場合は、デバイスに通信が届かず、正常に設定変更ができない可能性があります。シーンセクターハンディリモコンは、リモコン個別に設定変更を行ってください。

Q グループ設定で、デバイスがグループに登録できないことがあります。

A 登録時の通信がデバイスに届いていない可能性があります。グループに登録するシンボルを再度選択し、登録を行ってください。

■調光について

Q LED照明器具の調光率を教えてください。

A LED照明器具の調光率は、機種によって異なりますので、仕様図などご確認ください。

Q 位相調光ユニットは他社の位相調光器具を接続することができますか。

A 他社の位相調光器具を接続することはできません。ENDO専用の位相調光器具をご使用ください。

Q 位相調光ユニットへ接続できる位相調光器具の台数を教えてください。

A 位相調光ユニットに接続できる位相調光器具は、機種によって異なりますので仕様図などで確認をお願い致します。

Q 調光・調色の色温度範囲を教えてください。

A 調光率は調光グループ：0% 5%-100% その他グループは0% 1%-100%
色温度範囲は、調光調色グループ：2700K-6500K
Synca調光調色グループは1800K-12000K又は11x11のカラーパレットより指定
(対象器具により異なる場合があります。)

Q LED照明器具の電源をオフし、再度オンしたときの調光率はいくらですか。

A LED照明器具の電源オフし再度オンとした時の調光率は オフした時の調光率で復帰します。但し、0%でオフした時は、5%で復帰します。調光率の保存には、変更後5秒間必要です。

■各デバイスについて

Q シーンセレクター壁付けリモコンは実行しているシーンを確認することができますか。

A シーンを選択・ボタンを押すと、赤色LEDが点灯し、照明器具が切り替えたシーンで点灯しますので、確認することができます。

Q ゲートウェイの時刻は電源オフ後何日保持していますか。

A 2日間保持します。時刻が間違っている場合はコントローラで時刻合わせを行います。

Q 専用コントローラは他のアプリをインストールすることができますか。

A 他のアプリはインストールしないでください。

Q 専用コントローラはインターネットへの接続が必要ですか。

A 不要です。専用コントローラはインターネットへの接続なしでお使いいただけます。

Q 専用コントローラのアプリケーションはアップデート可能ですか。

A インターネットに接続してのアップデートにも対応しておりませんのでアップデートは最寄りの営業所にお問い合わせください。

Q 照明器具の追加や交換は可能ですか。

A 可能です。既存のグループへの照明器具の追加、交換となる場合は、そのグループに関連するシーン、スケジュールの再設定が必要になります。

Q 照明配置画面のデバイスリストに、“未知デバイス”と表示されます。

A 通信環境の影響でデバイスのスキャンが完了していない可能性があります。デバイスリストの項目の[...]をタップし、個別再スキャンを行ってください。また、本システムに対応していない機器の可能性があります。その場合は項目を左にスライドし、[削除]をタップしキックアウトを行ってください。

Q Smart LEDZ Fit 用のゲートウェイ(FX-425WA/BA)をスキャンするとどうなりますか。

A デバイスリストに、“未知デバイス”と表示されます。本システムに対応していない製品なので、項目を左にスライドし、[削除]をタップしキックアウトを行ってください。

Q メッシュネットワークについて、注意事項はありますか。

A メッシュネットワークを正常に保つため、複数端末で同時にメッシュスキャンする操作や、同時にキックアウトする操作、一方メッシュスキャン、一方キックアウトの同時操作は行わないでください。

■アプリの設定上限について

項目	上限
グループ設定	<ul style="list-style-type: none"> ・照明グループ、センサーグループ1システム合計最大200まで。ただし、センサーグループは、1ゲートウェイあたり照度センサーグループと人感センサーグループの合計が最大5まで。 ・全てのグループに登録できるデバイス数は合計3000まで。
ゾーン設定数	<ul style="list-style-type: none"> ・1システム最大50まで。
1ゾーンあたりのグループ数	<ul style="list-style-type: none"> ・1ゾーンあたり最大50まで。
1ゾーンあたりのシーン数	<ul style="list-style-type: none"> ・1ゾーンあたり最大15まで。ただし、1システム合計最大250まで。
ゾーンのスケジュール設定	<ul style="list-style-type: none"> ・シーンタイムテーブルは、1ゾーンあたり最大10まで。 ・1シーンタイムテーブルのシーンの切り替えは最大100まで。 ・ゾーン毎に、毎日、週間、期間、特異日が設定できる。期間、特異日は、各最大30まで。
センサー登録数	<ul style="list-style-type: none"> ・1システム100台まで。
センサーグループのセンサー登録数	<ul style="list-style-type: none"> ・照度センサーグループは、センサー1台まで。 ・人感センサーグループは、センサー10台まで。
センサーパターン設定	<ul style="list-style-type: none"> ・1システム最大20まで。
センサーグループのスケジュール設定	<ul style="list-style-type: none"> ・センサータイムテーブルは1システムあたり最大20まで。 ・1センサータイムテーブルのセンサーパターンの切り替えは最大48まで。 ・センサーグループ毎に毎日、週間、期間、特異日が設定できる。期間は、特異日は、各最大30まで。
リモコン登録数	<ul style="list-style-type: none"> ・シーンセレクターハンディリモコン、シーンセレクター壁付けリモコンは、1システム合計最大120台まで。ただし、1ゲートウェイあたり最大10台まで。
接点コンバータ登録数	<ul style="list-style-type: none"> ・1システム最大1台まで。

■ インジケータについて

Q ゲートウェイインジケータの表示（動作）内容を教えてください。

A 下記表を参照ください。

LED	説明	色	動作	
WLAN	コントローラ・ゲートウェイ間の双方向通信	緑 (上段)	点滅	通信中
			消灯	通信遮断
WPAN	無線モジュール間の双方向通信	緑 (中段)	点滅	通信中
			消灯	通信遮断
ETHERNET	イーサネットの双方向通信	緑 (下段)	点滅	通信中
			消灯	通信遮断
POWER	電源・RTC	赤	点灯	通電・正常
			消灯	未通電
			高速点滅 (1秒間隔)	無線モジュール異常
			低速点滅 (2秒間隔)	RTC停止

※コントローラでの設定時にゲートウェイを選択した際は、全てのインジケータが点滅します。上記の項目を確認した後に異常がある場合は、販売店にご連絡ください。

Q センサーインジケータの表示（動作）内容を教えてください。

A 下記表を参照ください。

LED	説明	色	動作	
POWER	電源	赤	点灯	電源オン
			消灯	電源オフ
WPAN	無線モジュール間の双方向通信	緑	消灯	非通信(未設定)
			低速点滅 (5秒間隔)	通信中
OCCUPANCY	人感センサー	緑	消灯	未検知
			点灯	人検知

9

お知らせ

連絡先

お問い合わせ先：

株式会社 遠藤照明 ホームページアドレス

<https://www.endo-lighting.co.jp/>

【 遠藤照明について 】を選択して、
【 事業所 】を選択すると営業所一覧表が表示されます。

最寄の営業所へお問い合わせください。



*ホームページのレイアウトは予告なく変更される場合がございます。

「Smart LEDZ Fit Plus の情報Webページ」

以下のQRコードからご覧になれます。



9

お知らせ

Smart LEDZ コントローラ設定メモ

年 月 日

項目	任意設定値		初期値
ルーター IPアドレス			
ルーター ユーザー名			
ルーター パスワード			
システムID			
パスワード			
サーバーGW IPアドレス			
Wi-Fi AP SSID			endo-lighting
Wi-Fi AP パスワード			12345678

ゲートウェイ名	メッシュネットワークID	メッシュネットワークパスワード
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

注1) ルーターのIPアドレス、パスワードは設置前に控えてください。

注2) パスワード、IDを忘れると操作・設定ができなくなります。

適切に記録・保管をしてください。

ENDO

LIGHTING CORP.

www.endo-lighting.co.jp